

予 算 科 目	07商工費	01商工費	01商工総務費	02消費生活推進事業		
細 事 業 名	01 消費生活推進事業				決算書	P.252
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	⑦ 防犯・交通安全の推進	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
4,342千円	4,487千円	145千円	96.7 %	4,283千円		
目的	消費生活センターで、相談対応及び情報提供等を行うとともに、消費生活学習グループの活動に対する支援を行うことにより、市民の消費生活の安定、向上を図る。					
主要な 事業・ 事業及び 成果の 概要	○消費生活相談事業			4,082千円		
	消費生活センターに専門相談員を配置し、市民からの相談に対応するとともに、消費生活に関する情報の収集・提供を行った。					
	【開設場所】			寄り添い支援総合サポートセンター内		
	【相談時間】			午前9時～正午、午後1時～午後4時		
	【相談受付件数】			311件（販売購入：277件、事故：3件、その他：31件）		
	【消費生活セミナー開催】					
	第1回（10月1日）食品表示について、消費生活に関する寸劇					
	第2回（3月6日）食品表示(百貨店の取組)について、消費生活に関する寸劇					
	・相談員賃金等（1人）※1人分は市民生活相談事業から支出			2,060千円		
	・研修旅費等			630千円		
主な 財源	・消費生活セミナー開催費用			125千円		
	・参考図書、チラシ、事務用品等購入費			240千円		
	・電話、FAX料金等			104千円		
	・公用車維持管理費（2台）			923千円		
	○消費生活学習グループ活動費補助金			260千円		
	【会員数（平成27年3月31日現在）】					
	峰山 32人、大宮 45人、網野 15人、丹後 27人、弥栄 15人、久美浜 18人					
	【活動内容】					
	・イベント、老人会等での啓発活動					
	・消費生活学習会等の実施					
評価・ 課題等	府補			消費生活行政活性化事業費補助金（10/10）		
	諸収入			2,701千円		
事業所管課	市有自動車損害共済金			66千円		
	商工観光部／商工振興課					

予 算 科 目	07商工費	01商工費	01商工総務費	50商工総務一般経費		
細 事 業 名	01 商工総務一般経費				決算書	P.254
総 合 計 画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
5,645千円	6,210千円		565千円	90.9 %	5,342千円	
目 的	商工業振興に係る業務を推進するために必要な経費及び公用車等の維持管理経費					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	○公用車維持管理費 (燃料代、車検代、修理代、保険料等) ※商工観光部管理台数：9台					3,171千円
	○公用車維持管理費、商工観光部イベント用コピーカウント料					665千円
	○公用車購入費					788千円
	○公用車事故賠償金（1件）					67千円
	○事務補助業務人材派遣委託料 (平成26年10月27日～平成27年3月31日、産休育休代替1人)					954千円
主 な 財 源	諸収入 市有自動車損害共済金					137千円
評 価 ・ 課 題 等	商工業振興に係る業務の円滑化に資することができた。					
事 業 所 管 課		商工観光部／商工振興課				

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	01商工会助成事業		
細 事 業 名	01 商工会助成事業				決算書	P.254
総 合 計 画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額		
81,158千円	81,676千円	518千円	99.3 %	80,656千円		
目的	京丹後市商工会が実施する小規模事業者のニーズに対応した経営相談等の支援活動、地域活性化事業等に対して補助金を交付し、商工業の総合的な振興・発展を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○小規模事業経営支援事業補助金 65,983千円					
	京丹後市商工会による経営相談、金融斡旋、巡回指導及び小売商業振興事業など地域に密着した活動や事業を支援し、商工業者の経営安定及び成長を図った。					
	・経営改善普及指導事業分 61,000千円					
	(小規模事業者への経営指導、経営相談等の事業費及び指導職員の設置費)					
	・地域総合振興事業分 4,983千円					
	(販路開拓、小売商業活性化、特産品づくり活動等)					
	○織物指導事業補助金 11,019千円					
	延べ2,779件の織物指導、織機調整事業を支援し、丹後織物の技術の維持・継承と製品品質の確保を図るとともに、経営環境が厳しい織物事業者の経費負担の軽減を図った。					
	○地域活性化事業補助金 4,156千円					
	市内産業及び丹後ちりめんの振興と地域活性化に資するイベントを支援した。					
イベント名		京丹後きもの祭	京丹後商工祭			
補助金額		656千円	3,500千円			
補助対象経費		1,524千円	6,335千円			
開催日		4月13日	11月2日、3日			
開催場所		網野神社	丹後あじわいの郷			
主な財源	府補 未来づくり交付金（織物指導事業費補助金）				5,000千円	
評価・課題等	○商工会が行う事業に対して補助金を交付することにより、巡回指導の充実実施をはじめ、経営相談、金融斡旋など商工業者に対するさまざまな支援活動が行われるとともに、織物事業者への支援、産業振興に資するイベントなどが実施され、厳しい地域経済状況下において商工業の振興に資することができた。 ○会員へのサービス向上には努めているものの、厳しい経営環境や後継者不在による廃業等で会員離れが進行しており、引き続き地域経済活性化に向けた支援が必要である。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02京丹後ブランド推進事業
細事業名	01 丹後地域地場産業振興センター運営費補助金			決算書 P.254
総合計画	基本方針 I 交流経済都市	計画項目	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
29,338千円	29,338千円	0千円	100.0 %	29,338千円
目的	公益財団法人丹後地域地場産業振興センターが行う地場産業の振興を図る各種事業を支援することで、本市における地場産業の総合的な振興を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	公益財団法人丹後地域地場産業振興センターが行う施設管理、丹後ブランド商品の販売、地場商品の販路拡大、新商品の開発、人材育成、情報の収集、提供など地場産業の振興を図る各種事業の実施に対し、補助金を交付した。			
	○公益財団法人丹後地域地場産業振興センター運営費補助金 29,338千円			
	【主な実施事業】			
	・染色体験の実施（市民・観光客等321人が体験）			
	・地場商品の常設展示即売(192業者、約2,200品目、年間売上34,990千円)			
	・Tango Good Goods認定事業及び販売促進事業の実施			
	平成26年度認定数：50業者 96商品			
	見本市の開催：「Tango Good Goods見本市」10/4・5宮津市民体育館			
	来場者数：2,734人、小売店等来場者数：19人、商談数：20件			
	・各地域主催物産展、各種展示商談会・イベント等への出展			
	丹後のええもんうまいもん展(北千里12回、京都5回、名古屋3回、浜松1回)			
	東京インターナショナルギフトショーほか			
	出展事業者数：延べ242業者			
	・ICTを活用した丹後商品の集積・販売事業（農林水産品等）			
	販売金額 32,799千円（前年比2,962千円増）			
	登録生産者数 166人（前年比33人増）			
	・カタログ・商品販売用WEBサイトによる丹後商品情報の発信			
	・人材育成事業 地域産業人材育成事業受託による失業者雇用 延べ5人			
	講座開設（ECサイト運営等） 5講座 受講者延べ80人			
	・創業相談窓口の開設（「創業支援事業計画」の国認定に基づく。7月～）			
	・施設管理及び運営			
主な財源				
評価・課題等	○物産展、展示商談会などに出席し、地場商品のPR及び販売促進を年間通して実施することで、地場産業の一層の振興を図ることができた。 ○人材育成事業を拡充実施する中、失業者の雇用促進、市内事業者の育成等を図ることができた。 ○ICTを活用した集積・販売事業では売上が伸びているものの、展示即売室での来客数・売上高は減少が続いており、対策を講じる必要がある。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02京丹後ブランド推進事業
細事業名	02 京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金			決算書 P.254
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,660千円	2,660千円	0千円	100.0 %	2,660千円
目的	他市町とも連携しつつ、「特産品ショップ ホット丹後」を起点とした都市部における丹後の情報・魅力の発信と特産品等の販売を強化する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	丹後の情報・魅力発信拠点施設（アンテナショップ）である「特産品ショップ・ホット丹後」が行う、京丹後市のPR、ブランド品の紹介、販売促進、販路拡大等を図るための事業運営に対し、補助金を交付した。 ○京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金 2,660千円 【実施状況等】 ・ホット丹後会員数 2,112人（平成27年3月末現在） ・購入者数 年間 延べ22,912人（前年比1,277人増） ・販売実績額 年間 17,707千円（前年比1,097千円増） 購入者数・販売実績額とも平成24年度までの減少傾向から反転し、2年連続して増加。 ・常設店舗外での販売、PR事業（サテライト販売） KBS京都朝市、弥栄町人会 ・その他PR事業 10/12・19 会員対象「丹後ツアー」の実施（参加98人 参加費3,500円） アミティ丹後でのお買い物もの、染色体験、梨狩体験 豪商稲葉本家見学 などを実施 ・生産者による店頭販売 4業者 66回 売上2,520千円 《参考》他市町補助額 490千円（宮津市280千円、与謝野町210千円）			
主な財源	府補 未来づくり交付金（丹後地域特産品販路開拓事業）			650千円
評価・課題等	○ホット丹後会員を対象にした丹後ツアーの実施等、丹後の情報・魅力を発信する取組を行い、都市部での京丹後市と丹後産品の認知度やブランド力を向上させることができた。 ○平成25年度に運営部分を「ホット丹後出展者会」が選定する事業者に委託する方式としたが、同事業者の解散により平成26年度は再度（公財）丹後地域地場産業振興センターが直接運営。新たな委託先又は運営形態を模索する必要がある。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02京丹後ブランド推進事業
細事業名	04 地域ブランド推進連携事業			決算書 P.254
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
592千円	615千円	23千円	96.2 %	991千円
目的	「全国地域ブランド連携協議会」へ参画し、プロモーションイベントや物産展への出展、情報発信等を行い、京丹後市ブランドの価値とイメージの向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	平成26年度は小牧市でブランドサミットが開催され、各自治体が地域ブランド等の情報発信を行った。また、6月と11月には東京駅前のTICTOKYOにて屋外イベントに出展し、地場産品等のPR販売を行った。 ○職員旅費 313千円 連携協議会地域ブランドサミット（愛知県小牧市：1回） 来場者数：約55,000人 連携協議会会議（東京：1回、名古屋：1回） TICTOKYO屋外イベント（東京：2回） ○有料道路通行料（ブランドサミット） 11千円 ○全国地域ブランド連携協議会会費及び事業負担金 224千円 ○TICTOKYO屋外イベント出展費用 44千円			
主な財源				
評価・課題等	○約55,000人の来場があったブランドサミットや多くのビジネスマンが行き交うTICTOKYOの屋外イベントでは、京丹後ブランドのPRを行い、「京丹後市」「かに」「ちりめん」といったイメージを多くの方に印象付けることができた。 ○この取組は、即時に効果が出るものではないため、連携協議会において実施内容等を工夫しつつ、継続して参画・実施していくことが必要である。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02京丹後ブランド推進事業
細事業名	05ブランドビジネス支援事業			決算書 P.254
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	⑥京丹後ブランドの販売戦略
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
2,128千円	2,154千円	26千円	98.7%	3,251千円
目的	自治体運営型通販サイト「自治体特選ストア」を運営し、広く全国に対し京丹後産品の情報発信と販売を行い、市内事業者の新規販路確保と京丹後産品の販売促進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	平成26年3月に開設した自治体運営型通販サイト「自治体特選ストア京丹後」を運営し、公募により集まった14事業者の商品20品を掲載して京丹後産品を販売するとともに、facebookを活用して商品・出品者や京丹後市の魅力に関する情報発信を行った。 ○職員旅費（会議等） 80千円 ○出展事業者：市内14事業者 出品商品：20商品 ○ブランドビジネスシステム運用業務委託料 1,944千円 委託先：F&Bホールディングス企業連合 ○ブランドビジネス発信情報収集業務委託料 104千円 委託先：公益財団法人丹後地域地場産業振興センター			
主な財源				
評価・課題等	○facebook等を通じて、広く全国へ京丹後ブランドの情報発信ができ、またネット販売へ新たにチャレンジする事業者への後押しを行うことができたが、サイトそのものの認知度不足もあり、売上は少額に留まった。 ○平成27年度以降は、（公財）丹後地域地場産業振興センターが運営するYahoo!ショッピングサイトに一本化し、より効率的かつ効果的な情報発信を行う中で、京丹後ブランドビジネスの確立につなげていく必要がある。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業														
細事業名	01 あんしん借換資金等利子補給事業			決算書 P.256														
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興														
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額														
52,654千円	55,225千円	2,571千円	95.3%	62,000千円														
目的	市内商工業者等が借り入れた事業資金を返済する際に負担した利子の一部を補給することにより、資金調達を円滑化し、市内商工業者の経営の安定化と成長の促進を図る。																	
主要な事務・事業及び成果の概要	市内商工業者等が「京都府中小企業融資制度」、「京丹後市商工業振興融資制度」、「政府系金融機関融資制度」に基づき事業資金を借入れその返済にあたり負担した利子について、借入利率の1.7%を超える部分（最大2.5%分、1事業者当たり年度内100万円が限度）を補給し事業資金借入にかかる負担を軽減することにより、経営の安定化と成長の促進を図った。																	
	○京丹後市商工業経営安定利子補給金 52,654千円 ・交付決定事業者数 623事業者 ・交付決定融資件数 1,362件																	
	【内訳】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>制度区分</th> <th>交付決定融資件数</th> <th>交付決定金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あんしん借換融資制度</td> <td>702件</td> <td>8,735千円</td> </tr> <tr> <td>その他府融資制度</td> <td>371件</td> <td>38,488千円</td> </tr> <tr> <td>京丹後市商工業振興融資制度</td> <td>13件</td> <td>129千円</td> </tr> <tr> <td>政府系金融機関融資制度</td> <td>276件</td> <td>5,302千円</td> </tr> </tbody> </table>				制度区分	交付決定融資件数	交付決定金額	あんしん借換融資制度	702件	8,735千円	その他府融資制度	371件	38,488千円	京丹後市商工業振興融資制度	13件	129千円	政府系金融機関融資制度	276件
制度区分	交付決定融資件数	交付決定金額																
あんしん借換融資制度	702件	8,735千円																
その他府融資制度	371件	38,488千円																
京丹後市商工業振興融資制度	13件	129千円																
政府系金融機関融資制度	276件	5,302千円																
主な財源																		
評価・課題等	○信用保証料補助制度とともに資金借入に伴う負担を軽減することにより、設備投資や運転資金の借入、また借換による有利な借入への移行や実質的な借入期間の延長が行いやすくなり、市内商工業者の経営の安定化と成長の促進に資することができた。 ○地域の経済情勢等を見極めつつ、補給率等を見直すとともに、あわせて市内商工業者の投資への支援の在り方を検討していく必要がある。																	
事業所管課	商工観光部／商工振興課																	

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業																																			
細事業名	02 信用保証料補助金			決算書 P.256																																			
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略																																			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																			
43,566千円	43,566千円	0千円	100.0 %	45,000千円																																			
目的	市内中小企業者が事業運営に必要な運転資金や設備資金を借り入れた際に負担する信用保証料の一部を補助することで、事業資金調達の円滑化と負担軽減を図る。																																						
主要な事務・事業及び成果の概要	厳しい経済情勢を勘案し、平成26年度中に実行された融資に係る保証料については、平成25年度に引き続き一部補助率を引き上げて補助金を交付することで、市内中小企業者の事業資金借入に係る負担軽減と経営安定化を図った。																																						
	○京丹後市信用保証料補助金			43,566千円																																			
	・交付決定件数：293件																																						
	<table><tr><td>業種</td><td>建設業</td><td>製造業</td><td>卸売・小売業</td><td>飲食店・宿泊業</td><td>その他</td><td>合計</td></tr><tr><td>H25 件数</td><td>81</td><td>50</td><td>85</td><td>43</td><td>34</td><td>293</td></tr><tr><td>H25 交付額</td><td>12,342</td><td>7,564</td><td>13,598</td><td>6,258</td><td>3,804</td><td>43,563</td></tr><tr><td>(参考) 件数</td><td>66</td><td>55</td><td>101</td><td>38</td><td>41</td><td>301</td></tr><tr><td>H25 交付額</td><td>10,397</td><td>8,474</td><td>14,203</td><td>5,123</td><td>4,062</td><td>42,259</td></tr></table>				業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店・宿泊業	その他	合計	H25 件数	81	50	85	43	34	293	H25 交付額	12,342	7,564	13,598	6,258	3,804	43,563	(参考) 件数	66	55	101	38	41	301	H25 交付額	10,397	8,474	14,203	5,123	4,062	42,259
	業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店・宿泊業	その他	合計																																
	H25 件数	81	50	85	43	34	293																																
	H25 交付額	12,342	7,564	13,598	6,258	3,804	43,563																																
	(参考) 件数	66	55	101	38	41	301																																
	H25 交付額	10,397	8,474	14,203	5,123	4,062	42,259																																
	・補助率（平成26年度は、平成25年度と同様に特例として一部補助率を引上げ）																																						
<table><tr><td>借入額</td><td>基本補助率</td><td>H25特例補助率</td></tr><tr><td>100万円以内</td><td>80%</td><td>補助率を維持 80%</td></tr><tr><td>100万円超300万円以内</td><td>70%</td><td>補助率を維持 70%</td></tr><tr><td>300万円超500万円以内</td><td>60%</td><td>65%</td></tr><tr><td>500万円超700万円以内</td><td>50%</td><td>60%</td></tr><tr><td>700万円超1,000万円以内</td><td>40%</td><td>55%</td></tr><tr><td>1,000万円超2,000万円以内</td><td>30%</td><td>40%</td></tr><tr><td>2,000万円超</td><td>30%</td><td>補助率を維持 30%</td></tr></table>				借入額	基本補助率	H25特例補助率	100万円以内	80%	補助率を維持 80%	100万円超300万円以内	70%	補助率を維持 70%	300万円超500万円以内	60%	65%	500万円超700万円以内	50%	60%	700万円超1,000万円以内	40%	55%	1,000万円超2,000万円以内	30%	40%	2,000万円超	30%	補助率を維持 30%												
借入額	基本補助率	H25特例補助率																																					
100万円以内	80%	補助率を維持 80%																																					
100万円超300万円以内	70%	補助率を維持 70%																																					
300万円超500万円以内	60%	65%																																					
500万円超700万円以内	50%	60%																																					
700万円超1,000万円以内	40%	55%																																					
1,000万円超2,000万円以内	30%	40%																																					
2,000万円超	30%	補助率を維持 30%																																					
主な財源																																							
評価・課題等	○厳しい景況が続く中、市内中小企業者の資金調達の円滑化及び経営上の負担軽減を図り、経営の安定化に資することができた。 ○地域の経済情勢等を見極めつつ、補助率の見直しを含め、効果的な支援の在り方を検討していく必要がある。																																						
事業所管課	商工観光部／商工振興課																																						

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業
細事業名	03 商工業支援事業			決算書 P.256
総合計画	基本方針 I	交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
19,019千円	19,909千円	890千円	95.5 %	14,535千円
目的	市民等が行う新たな取組等に対して支援を実施し、地域経済の活性化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○創業支援基礎研修講師派遣業務委託料 125千円			
	産業競争力強化法に基づく「京丹後市創業支援事業計画」が国の認定を受けたことに伴い、平成26年7月1日から創業相談窓口を開設するにあたり、京丹後市と認定創業支援事業者（京丹後市商工会、（公財）京都産業21北部支援センター、（公財）丹後地域地場産業振興センター）の職員等を対象とした研修会を実施した。			
	<開催日・参加人数> 第1回：7月3日（木）16人、第2回：7月10日（木）17人			
	○商工業支援補助金 9,491千円			
	市民等が行う創業や空き店舗の活用、新商品開発や販路開拓等に関する取組を支援し、商工業の振興を図った。			
	事業内容		件数	補助金額
	新商品・新製品開発事業		3件	569千円
	創業支援事業（創業時）		3件	2,263千円
	空き店舗・空き工場等活用促進事業（開業時）		3件	2,642千円
	家賃補助（創業支援、空き店舗等活用促進事業）		15件	2,040千円
	国内外販路開拓促進事業		8件	1,821千円
	知的財産権取得支援事業		1件	156千円
	合計		33件	9,491千円
	○プレミアム商品券発行事業補助金 431千円			
	京都府が介護保険返戻対象者への返戻交付用に購入・活用する「プレミアム付商品券」を、京丹後市商工会が発行するにあたり、事業費の一部を支援した。			
	発行枚数	15,475枚（発行総額15,538千円、売上総額14,180千円）		
	補助金	プレミアム相当額1,295千円×1/3		

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業
細事業名	03 商工業支援事業			決算書 P.256
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
19,019千円	19,909千円	890千円	95.5 %	14,535千円
主要な 事業及び 成果の 概要	○新技術開発補助金 7,500千円			
	平成26年6月5日付けで一般財団法人地域総合整備財団から採択を受けた新技術・地域資源開発補助事業を実施するため、市が同財団から補助金の交付を受け、市内企業に補助金を交付した。			
	交付決定件数 1件 (インキュバータ内設置型細胞培養システムの研究開発)			
	○商店街の安心環境整備事業補助金 1,472千円			
主 な 財 源	安心・安全に配慮した身近で快適な商店街づくりや、地域住民の安心・安全な生活環境を守るための施設・設備等の環境整備を推進するため、全国商店街振興組合連合会が行う助成制度を利用して市内の商店街が行う商店街まちづくり事業(街路灯整備等)に関し、京都府と連携してその上乗せ支援を行った(補助率: 全国商店街振興組合連合会(国) 2/3、府1/9、市1/9)。			
	交付決定件数 6件			
	・街路灯LED化…間人商店連盟、弥栄商友会、はごろも商店会、峰山本町会 金刀比羅商店会			
	・アーケード改修…御旅市場アーケード管理組合			
評 価 ・ 課 題 等	府補 未来づくり交付金(商工業支援補助金) 4,600千円			
	諸収入 新技術・地域資源開発補助金 7,500千円			
事業所管課		商工観光部/商工振興課		

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	04企業立地推進事業
細事業名	01 企業立地促進事業			決算書 P.256
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,651千円	2,806千円	155千円	94.4 %	5,004千円
目的	市内における企業・工場の新増設や誘致など企業・事業立地を促進し、企業成長に伴う雇用機会の拡大等、市民生活の充実・発展と産業横断的な地域経済の活性化を図る。			
主要な 事業及び 成果の 概要	【企業訪問等立地推進活動】 695千円			
	職員等による企業・関連団体訪問、展示商談会出展等 延べ50か所			
	【企業立地ガイド等の作成】 217千円			
	企業立地ガイド(京丹後市PR冊子)増刷 1,000部 企業誘致リーフレット(森本工業団地PR冊子)印刷 3,000部			
主 な 財 源	【企業立地推進業務の実施】 委託先: (株)帝国データバンク 998千円			
	① 市内企業(10社)への、聞き取り調査(実態把握)の実施			
	② ①の調査結果に基づきアンケート票を作成し、関西圏域を中心とした企業への調査を実施。			
	※調査件数800件うち回収件数112件、回収率14%			
評 価 ・ 課 題 等	【企業誘致関連展示商談会への出展】 661千円			
	・「関西・機械要素技術展」平成26年9月24~26日(インテックス大阪) ・「あまがさき産業フェア」平成26年10月16~17日(尼崎市中小企業センター)			
事業所管課		商工観光部/商工振興課		

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	04企業立地推進事業
細事業名	02 企業立地支援事業			決算書 P.256
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
9,050千円	9,050千円	0千円	100.0 %	16,097千円
目的	市内における工場の新設及び増設を奨励することにより、雇用の拡大とものづくり産業の集積を促進し、もって本市産業の振興を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	新制度（京丹後市企業立地支援事業実施要綱）に基づき、事業所の新增設を行い、かつ正規雇用者を2人以上増加させた「指定事業所」（中小企業）に対して、企業立地助成金を交付した。 また、旧制度（京丹後市工場立地促進条例）に基づき、「指定工場」に対して、工場新增設奨励金（固定資産税納付相当額）及び雇用促進奨励金（新規地元常月雇用者1人につき40万円）を交付した。（旧制度の経過措置は、平成30年度まで。） ○新制度分 ・企業立地助成金 1件 2,000千円 ○旧制度分 ・工場新增設奨励金 4件 3,450千円 ・雇用促進奨励金 1件 3,600千円 ※指定済（H26交付対象）事業所数 7件			
主な財源	府補 未来づくり交付金（工場立地奨励金）			3,100千円
評価・課題等	○助成金・奨励金を交付することにより、市内における事業所の新設及び増設を促進するとともに雇用の拡大・安定化に寄与することができた。 ○引き続き制度のPRを行う中で、森本工業団地をはじめ市内への企業立地を促進していく必要がある。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	04企業立地推進事業
細事業名	03 工業団地維持管理事業			決算書 P.256
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,281千円	1,355千円	74千円	94.5 %	1,290千円
目的	市内5か所の工業団地における維持管理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○光熱水費 47千円 ・赤坂工業団地 入口看板照明 ○修繕料 124千円 ・谷工業団地内排水路浸透柵蓋取替修繕 ○市有地測量登記委託料 445千円 ・谷工業団地法面市有地境界確定測量業務 ○工業団地環境美化業務委託料 662千円 ・大山工業団地 側溝清掃、排水路清掃業務 141千円 ・永留工業団地 枯松伐採・集積業務 195千円 ・赤坂工業団地 調整池清掃、伐採・集積業務 326千円 ○土地借上料 3千円 ・大山工業団地 下水道管敷設地			
主な財源	諸収入 市有地測量登記負担金			222千円
評価・課題等	工業団地の適切な維持管理を行い、引き続き立地企業の円滑な操業に資する。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05織物業振興事業
細事業名	01 和装産地連携事業			決算書 P.256
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目 ④ 商工業の振興	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
101千円	101千円	0千円	100.0 %	101千円
目的	全国和装産地市町村協議会に加盟し活動に参加するとともに、市内の織物関連団体で組織する森田翁顕彰会の活動を支援し、和装産業の振興・発展を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	和装産業の振興を推進するため、本市を含む全国の和装産地自治体で組織する全国和装産地市町村協議会に対し、負担金を支出した。加えて、本市、丹後織物工業組合、京丹後市商工会及び峰山町内の機業組合で組織する森田翁顕彰会に対し、負担金を支出した。 ○全国和装産地市町村協議会負担金 30千円 【会員数】 13市2町 〔山形県米沢市、茨城県結城市、茨城県常総市、群馬県桐生市、群馬県伊勢崎市、新潟県小千谷市、新潟県十日町市、新潟県五泉市、石川県金沢市、京都府京都市、京都府京丹後市、京都府与謝野町、鹿児島県鹿児島市、鹿児島県奄美市、鹿児島県龍郷町〕 【主な事業】 ・ 総会の開催 平成26年8月14日、京都職員会館かもがわ（京都市中京区） ・ 国への要望活動 シルクのまちづくり市区町村協議会と連名で経済産業省と文部科学省へ要望 ・ 「きものサミットin東京」への参加と全体会議の開催 平成26年11月10日、日本橋三井ホール他 ○森田翁顕彰会負担金 50千円 【主な事業】 ・ ちりめん始祖森田翁慰霊祭の開催（平成26年11月5日） ・ 墓所の清掃及び供養 ○職員旅費 21千円			
主な財源				
評価・課題等	○全国和装産地市町村協議会のさまざまな事業を通して本市のPRが図られたほか、全国の和装産地との課題や取組等の情報共有により、本市の施策検討に役立てることができた。和装業界がますます厳しさを増す中、今後も後継者不足等各産地共通の課題について、全国の和装産地が連携し、一体となって取り組む必要がある。 ○森田翁顕彰会の活動により、森田翁の偉業や丹後ちりめんの歴史文化を後世に継承することができた。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05織物業振興事業
細事業名	02 ちりめん関連事業補助金			決算書 P.256
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,237千円	2,550千円	313千円	87.7 %	2,852千円
目的	市内のきもの関連業者で組織する京丹後市きもの交流会の活動及び本市の和装関連イベントである「京丹後ちりめん祭」の開催を支援し、和装産業等の振興・発展を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	きもの関連業に携わる会員の事業経営や商品開発等に係る能力の向上、丹後ちりめんを中心とする織物業及び関連産業の振興に寄与することを目的に活動する京丹後市きもの交流会に対し、積極的な事業の推進を支援するため、補助金を交付した。 また、織物関連産業の振興及び活力ある地域づくりを推進するため、市や織物関連団体等で組織する京丹後ちりめん祭実行委員会に対し、補助金を交付した。 ○京丹後市きもの交流会補助金 525千円 【会員数】 17事業所（平成27年3月31日現在） 【事業概要】 ・ 京丹後ちりめん祭、丹後あじわいの郷「月例祭」、「丹後たからもの展」への参加協力 ・ 市内全7中学校の卒業生を対象とした、ちりめん製卒業証書の製作 ・ 会員の事業活動に必要な知識習得を目的とした研修の実施 ・ 市民の和装着用促進を目的としたきもの着付け教室の開催 ・ 「山陰海岸ジオパークビジネスフォーラムin京丹後」への参加 ・ 総事業費 1,169千円 ○京丹後ちりめん祭補助金 1,589千円 会場設営、各種催事の開催及びステージ出演者への謝礼等に係る経費補助 【第64回京丹後ちりめん祭の概要】 ・ 開催日・場所：4月12日、13日 アミティ丹後周辺 ・ 総事業費：2,267千円 ・ 主な内容：きものファッションショー、織物の展示、呉服販売、着物レンタル着付け、お茶席、スタンプラリー抽選会 ○公用車修繕料等（京丹後ちりめん祭における車両破損の修理）123千円			
主な財源	諸収入 市有自動車損害共済金			63千円
評価・課題等	○京丹後市きもの交流会の事業活動及び京丹後ちりめん祭の開催等を通して、丹後ちりめんや着物のPRが図られ、丹後ちりめんを中心とする織物業及び関連産業の振興に寄与した。ただし、きもの交流会については会員数が年々減少傾向にあるので、会員募集も継続的に行う必要がある。 ○京丹後ちりめん祭については、市商工会「京丹後きもの祭」との共催としたことによって、例年に増して多くの着物での参加者が得られ、着物の良さのPRができた。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05織物業振興事業		
細事業名	03 丹後ファッションウィーク開催委員会補助金				決算書	P.256
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額		
3,122千円	4,000千円	878千円	78.0%	4,000千円		
目的	丹後2市2町の自治体や織物関連団体で組織する丹後ファッションウィーク開催委員会の活動を支援し、織物業及び関連産業の振興・発展を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	日本最大の絹織物産地「丹後」の競争力の強化及び織物関連産業の振興・発展を図るため、「丹後織物」の魅力発信、織物事業者の国内外の販路開拓及び産官学の連携事業を実施する「丹後ファッションウィーク開催委員会」に対し、補助金を交付した。					
	○丹後ファッションウィーク開催委員会補助金 3,122千円					
	【販路開拓事業】					
	首都圏で丹後産地単独の丹後織物総合展「Tango Fabric Marche」を開催。 ・10月30日～10月31日、ヒルサイドテラスアネックスA棟（東京都渋谷区） ・商談件数121件（内新規88件）、成約件数19件【平成26年12月調査】					
	【産官学連携事業】 関西圏のファッション関連校4校と連携し、丹後織物を使った学生の作品制作及び連携校主催の制作発表会等を通じて、丹後織物のPRを行った。					
主な財源	【丹後織物製品開発・販売促進事業】					
	女子美術大学と連携し、丹後織物のデザイン及びその生地を使った雑貨類の作品制作を行った。今年度はアート風呂敷を作成し、海外の大学等でPRを行うとともに、展示会で試験販売も行った。また4年間の取組をまとめた冊子を作成した。					
	【専門家招へい事業／2020年に向けた新規事業検討事業】					
	絹織物産地のプロデューサーとして活躍されている岡田茂樹氏を丹後に招聘し、講演会の開催や、事業所訪問等の交流を通じて、2020年の東京オリンピック開催・丹後ちりめん創業300周年にむけた今後の製品づくりへのアドバイスをいただいた。					
	(総事業費7,135千円のうち、 与謝野町負担1,171千円、丹後織物工業組合負担2,812千円、雑収入30千円)					
府補	未来づくり交付金（織物業活性化推進事業）				1,000千円	
評価・課題等	○丹後ファッションウィーク開催委員会のさまざまな事業活動を通じて、丹後織物や産地のPR及び織物事業者の国内外の販路開拓が図られ、織物業及び関連産業の振興・発展に寄与した。 ○2020年に向けた新規事業の検討を開始することで、将来的な産地ビジョンづくりに着手できた。					
事業所管課	商工観光部／商工振興課					

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05織物業振興事業		
細事業名	05 シルクのまちづくり事業			決算書	P.256	
総合計画	基本方針 I 交流経済都市			計画項目	④ 商工業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率 (参考) 当初予算額
967千円		1,097千円		130千円		88.1 % 2,317千円
目的	絹のふるさと京丹後推進会議を設立し、プラン策定にむけて検討を行う。また、「シルクのまちづくり市区町村協議会」の活動に参加し、シルク産業の振興・発展を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	絹のふるさと京丹後推進会議を設立し、「絹のふるさと京丹後推進プラン」策定にむけて検討を行った。また、「シルクのまちづくり市区町村協議会」に参加し、シルク産業の振興とシルク文化を活用した魅力ある地域づくりを目的に活動を行った。 ○絹のふるさと京丹後推進会議の運営 174千円 【構成】 織物・繊維、養蚕業に携わる団体や関係者12名 府関係機関からオブザーバー3名 会議開催 2回 ○シルクのまちづくり市区町村協議会 224千円 総会（群馬県富岡市） 幹事会 2回（東京都内） 【協議会の概要】 ・自治体会員数 26市区町（平成27年3月31日現在） ・顧問 11人（ファッションジャーナリスト、テキスタイルデザイナー等） ・協賛団体 25団体（蚕糸団体、産地織物組合、絹業関連団体ほか） OGS世代研究会 ダンディファッションショーへの出演に係る経費 268千円 平成26年11月14日、京王プラザホテル（東京都新宿区） 丹後ちりめんの着物を着用し、丹後の風景と伝統産業である丹後ちりめんをPRした。 ○その他（上記以外の旅費、有料道路通行料等） 301千円					
主な財源						
評価・課題等	○絹のふるさと京丹後推進会議を立ち上げ、絹を切り口にしたまちづくりプランの策定に着手することができた。 ○世界遺産に登録された富岡製糸場と絹産業遺産群を視察することにより、会員同士で情報共有を図るとともに、本市の施策検討に役立てることができた。					
事業所管課	商工観光部／商工振興課					

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05織物業振興事業
細事業名	06 織物合理化設備導入支援事業補助金			決算書 P.256
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
7,998千円	7,998千円	0千円	100.0 %	4,000千円
目的	織機用ダイレクトジャカードコントローラ装置等を導入する市内織物事業者に対し補助金を交付し、織物事業者の経営の合理化及び安定化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○織物合理化設備導入支援事業補助金 7,998千円 交付件数 28件（平成24年度：26件、平成25年度19件） 交付台数 104台（平成24年度：66台、平成25年度65台） ・補助対象経費 織機用ダイレクトジャカードコントローラ装置等の購入、設置経費及び旧装置の撤去処分経費 ・補助金額 補助対象経費の1/3以内の額（補助限度額：1台につき10万円） ・補助期間 平成24年7月1日～平成27年3月31日までの3年間			
主な財源	府補 未来づくり交付金（織物合理化設備導入支援事業補助金）			3,900千円
評価・課題等	○補助金を交付することで、織物事業者の経営の合理化及び安定化が図られた。 ○平成26年度をもって本制度は終了するが、絹織物産地の維持・活性化を図るため、織機の新設・改修等に対する新たな補助制度を創設する必要がある。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05織物業振興事業					
細事業名	07 新シルク産業創造事業			決算書 P.256					
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額					
63千円	51,871千円	51,808千円	0.1 %	0千円					
目的	国の地域再生計画に基づき、新シルク産業創造に向けた取組を行うことにより、地域産業の基盤強化や成長を促し雇用の創出・拡大を目指す。								
主要な事務・事業及び成果の概要	○新シルク産業創造研究会設置・運営経費 41千円 内閣府の地域活性化モデルケースの採択を受け、蚕種業、養蚕業、製糸業、絹織物業、絹製品製造加工業など、現在の蚕糸・絹業の振興を図るとともに、絹の素材・機能を活用したヘルスケア産業、医療・医薬産業、産業素材産業など新たな絹産業の創業や事業創出を目指し、「新シルク産業創造研究会」を平成26年12月に創設した。 京丹後市だけでなく丹後地域、さらには京都府内の蚕糸・絹業関連産業の事業者、関係者及び新たなシルク産業の創出に関心のある方を広く募集し、2回の研究会を開催した。（第1回：平成26年12月17日、第2回：平成27年3月18日） 産・学・官それぞれの立場からコーディネーターを委嘱（3人）し、シルクの機能や業界事情などの現状等情報提供を行うとともに、研究会を円滑に進行する役割を担っていただいた。								
	・コーディネーター謝金（4千円×1人×2回） 8千円 ・コーディネーター費用弁償（2人×2回） 33千円								
	○旧溝谷小学校改修関連経費 22千円 「（仮称）新シルク研究開発・利用促進施設」の整備改修基本構想の具体化に向けた現地打合せを行った。 （構想担当者費用弁償：京都工芸繊維大学教授1人×1回）								
	■平成27年度への繰越事業 51,782千円								
	<table><tr><td>参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>89千円</td></tr><tr><td></td><td>実質的な執行率</td><td>70.7 %</td></tr></table> ・改修実施設計、大学連携、普及啓発等 平成28年3月完了予定 51,782千円				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	89千円		実質的な執行率
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	89千円							
	実質的な執行率	70.7 %							
主な財源									
評価・課題等	○研究会では延べ70人程度の参加があった。会員数は平成27年3月末時点で法人会員15社（25人）、個人会員7人となっている。参加者自らがシルクに関する多様な知識を学び課題を解決していくために有用な情報を積極的に提供するとともに、今後、参加者による事業化に向けた具体的な活動に向けて出来る限りの支援をしていく必要がある。 ○「（仮称）新シルク研究開発・利用促進施設」改修基本計画を基に、引き続き本格的な実施設計及び施設改修工事を進めることとする。								
事業所管課	商工観光部／商工振興課								

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	06機械金属業振興事業
細 事 業 名	01 機械金属業振興事業			決算書 P.258
総 合 計 画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
84千円	100千円	16千円	84.0 %	3,268千円
目的	市内の機械金属業が行う新たな展開に向けた基盤構築や技術力向上、市場との接点活動を支援し、機械金属業の事業分野の拡大と経営基盤強化を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	丹後機械工業協同組合の行うマッチングコーディネーターを活用した新分野企業等とのビジネスマッチング事業におけるマッチング会議へ出席し、支援活動を行った。 ○旅費 52千円 ○有料道路等使用料 32千円 ※ 丹後機械工業協同組合が行う事業（販路開拓・ビジネスマッチング）については、地域雇用環境整備特別対策事業「地域人づくり事業（処遇改善プロセス）」にて、例年より拡充して実施。 ○機械金属未来開拓挑戦支援業務（委託） ・展示会出展事業 国内4箇所 京都（17社）、大阪（11社）、名古屋（6社）、 尼崎（組合） ・ビジネスマッチング事業 参加20社／マッチング成立10件／取引関係成立1件 ・丹後ものづくり企業ナビ再構築事業 14社が企業紹介動画を更新			
主な財源				
評価・課題等	新たな顧客の開拓や成長産業分野への進出なくして丹後機械金属業の振興及び発展は考えられないことから、引き続きその活動を支援することにより、事業者の主体的なビジネス開拓や、新分野企業とのビジネスマッチング活動を促進していく必要がある。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	07産学連携推進コーディネート事業
細 事 業 名	01 起業アイデアコンパ開催事業			決算書 P.258
総 合 計 画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
904千円	933千円	29千円	96.8 %	933千円
目的	地域資源を活用した大学生発案の起業アイデアをもとに、京丹後市発の新たなビジネスを創造し、商工業の活性化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	「連携・協力に関する包括協定」を締結している京都工芸繊維大学のほか、京都府立大学、京都府立医科大学、京都ノートルダム女子大学、京都産業大学の学生を対象に、京丹後市の地域資源（自然、文化、歴史、生産物等）を理解してもらうため、9月にオリエンテーション（1泊2日）を実施。その後、その地域資源を活用した斬新な起業（事業）アイデアを大学側で募集、一次審査を通過した8件によるコンペティションを京丹後キャンパスで行った。 ○経費 ・コンペ入賞賞金 330千円 優秀賞150千円×1、優良賞50千円×2、佳作30千円×2、入選10千円×2 ※民間団体（錦織米市翁顕彰会）より、別途最優秀賞200千円の協賛あり ・参加賞（図書券10千円分×8件） 80千円 ・バス燃料代 27千円 ・旅費 3千円 ・委託料（コンペ企画運営委託料、バス運転委託料） 444千円 ・有料道路通行料 20千円 ○平成26年度起業アイデアコンペティション結果 最優秀賞 “旬を感じる！地酒を使った京丹後ケーキ” 優秀賞 “京丹後HALALFOODプロジェクト” ～ハラル食の展開で京丹後市にイスラムの人々を呼び寄せよう～			
主な財源				
評価・課題等	○平成26年度は、これまでの46件のアイデアを展示用にパネル化し、アミティ丹後展示室等で展示した。今後、市内イベント等でアイデアを展示し市内事業者へ発信していく必要がある。 ○今後より多くのアイデアが事業化されていくよう、アイデアのさらなる周知を図るとともに、事業化可能性の高いアイデアが提案されるための工夫を行っていく必要がある。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	07産学連携推進コーディネート事業
細事業名	02 産学連携推進事業			決算書 P.258
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
39千円	176千円	137千円	22.1 %	172千円
目的	大学と市民や市内事業者を結びつけるコーディネートを行うとともに、京都工芸繊維大学地域連携センター（京丹後キャンパス）の維持管理等を行い、市内産業の振興を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	「連携・協力に関する包括協定」を締結している国立大学法人京都工芸繊維大学の協力のもと、「KITわくわくキャンパスフェスタ」を開催し、「事業経営・技術相談会」や小中学生を対象とした「大学出張講義」等を行った。また、夏休み期間中には「夏休みこども勉強会」を開催するなど、市民や市内事業者の方々に大学との接点を持っていたり、身近に感じていただけるよう努めた。 【主な事業】 ○夏休みこども勉強会 - 日時：平成26年8月17日～18日 - 開催場所：京都工芸繊維大学地域連携センター（京丹後キャンパス） 丹後園 ふれあいホーム桃山 ○KITわくわくキャンパスフェスタ（市共催事業） - 日時：平成26年11月7日～9日 - 開催場所：京都工芸繊維大学地域連携センター（京丹後キャンパス） - 内容：事業経営・技術相談会、大学出張講義 出張美術工芸資料館、起業アイデアコンペ入賞アイデア展示会 【経費内訳】 ○出張旅費 33千円 ○有料道路通行料 6千円 ※京都工芸繊維大学地域連携センター（京丹後キャンパス）の利用状況 利用回数：53回 利用人数1,420人			
主な財源				
評価・課題等	○京都工芸繊維大学地域連携センターを拠点とした産学連携事業を通じ、大学の持つ技術・知識・人材を市内事業者等へ発信し、市内産業の振興に寄与することができた。 ○市内の事業者等に対し、京都工芸繊維大学地域連携センターの機能や役割、またそこで開催されるさまざまな産学公連携イベント等のさらなる周知を図り、大学の持つ技術・知識及び人材の積極的な活用を促進する必要がある。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	07産学連携推進コーディネート事業
細事業名	03 産学連携研究等促進事業			決算書 P.258
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,330千円	1,330千円	0千円	100.0 %	2,000千円
目的	大学等と共同研究等に取り組む市内中小企業者等に対し補助金を交付することで、大学等研究機関の連携を促進し、市内産業の高度化や新産業の創出等を実現する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	市内中小企業者が大学等研究機関と共同研究を行うにあたり、研究機関に支払った研究経費に対し補助金を交付することにより、新商品の開発や新技術の導入等による製品・サービスの高付加価値化を図ることに寄与することができた。 ○産学連携研究等促進事業費補助金 1,330千円 交付件数：2件 補助金額：1,330千円 補助率：1/2以内（上限額1,000千円） 研究テーマ ①「食べるシルクペプチドの新製造法の開発」※H25年度からの継続研究 ②「野蚕絹フィブロインの安定的な低分子化収率向上の研究開発」			
主な財源				
評価・課題等	○大学の持つ高度な学術資源（シーズ）を活用することにより、市内事業者の技術課題の解決に寄与した。 ○産業の高度化や新産業の創出等を実現し、雇用の維持と創出を図っていくため、当制度の活用を一層促進していく必要がある。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	08工業用地造成事業特別会計繰出金
細事業名	01 工業用地造成事業特別会計繰出金			決算書 P.258
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
191,400千円	191,400千円	0千円	100.0 %	191,400千円
目的	森本工業団地造成事業に係る地方債償還金について、一般会計から工業用地造成事業特別会計に繰り出す。			
主要な事務・事業及び成果の概要	森本工業団地造成事業に係る地方債償還金について、一般会計から工業用地造成事業特別会計に繰り出した。			
	○工業用地造成事業特別会計繰出金 191,400千円			
	(内訳)			
	償還元金 180,928千円			
	償還利子 10,525千円			
平成26年度工業用地造成事業特別会計の決算概要				
執行区分		執行額	執行額計	
印刷製本費		22千円	191,475千円	
公債費	元金	180,928千円		
	利子	10,525千円		
主な財源				
評価・課題等				
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	09人材育成事業
細事業名	01 人材育成事業			決算書 P.258
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
9,771千円	9,938千円	167千円	98.3 %	10,619千円
目的	「丹後・知恵のものづくりパーク」における事業の円滑な実施と適切な施設運営を促し、市内企業の一層の成長と次世代のものづくり産業の総合的な振興を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	公益財団法人京都産業21（北部支援センター）が、「丹後・知恵のものづくりパーク」で行う人材育成研修及び施設管理運営に係る費用の一部を負担することにより、同パークの適正な施設管理運営を推進するとともに、事業活動を行う上で必要となる知識、技術等を地元企業の従業員等に習得させるための研修事業を実施した。 また、市として繊維及び機械金属分野における新分野挑戦に向けた企業セミナーを開講したほか、ポータルサイトを運営し人材育成に関する情報の一元化及び発信強化に努めた。 ○「丹後・知恵のものづくりパーク」管理運営・人材育成事業 9,223千円 ・管理運営負担金 8,227千円 ・人材育成研修事業負担金 996千円 - 創業をめざす方のためのセミナー 3回開催 受講者数：6人 - 女性リーダー育成セミナー 4回開催 受講者数：延べ44人 - 生産管理研修 2回開催 受講者数：延べ21人 ○挑戦型企業セミナー開講事業 483千円 企業の新たな分野進出への挑戦を促すため、繊維及び機械金属分野におけるセミナーを計3回、京都工芸繊維大学へ委託して開講（受講者数延べ105人） ・第1講：蚕糸・絹業関連 ・第2講：機械・金属・電子関連 ・第3講：繊維関連・シルクの応用 ○京丹後市産業人材育成ポータルサイト管理運営業務 65千円 職業訓練法人丹後地域職業訓練協会へ管理運営業務を委託 情報更新（講座情報掲載）回数 77回、アクセスされたページ数 3,278			
主な財源				
評価・課題等	○「丹後・知恵のものづくりパーク」における適切な施設運営と、ものづくり人材育成や地域中小企業への経営・技術の総合支援等の各種事業の円滑な実施を促進し、市内企業の競争力強化に資することができた。 ○挑戦型企業セミナーの開講により、地元企業に対し業界の新たな動向や大学の持つ技術シーズ等の紹介を行い、今後の事業展開の参考としていただくことができた。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	10商工業総合振興事業		
細事業名	02 新経済戦略推進事業				決算書	P.260
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①	最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
1,146千円	1,303千円		157千円	87.9 %	2,604千円	
目的	京丹後市商工業総合振興条例及び新経済戦略に基づく施策を計画的に推進するため、制度の周知等を図るほか、これら施策の評価・検討などを行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○京丹後市新経済戦略推進会議及び企画委員会の開催					221千円
	京丹後市商工業総合振興条例及び新経済戦略に基づく施策を計画的に推進するため、施策の評価、検討などを行う新経済戦略推進会議及び企画委員会を開催。					
		開催日	構成委員（商工関係団体の代表者、有識者）			
	推進会議	5月29日、10月21日	委員17人、オブザーバー8人			
	企画委員会	9月26日	委員8人			
	・委員報酬 110千円		・消耗品費 55千円			
	・費用弁償 56千円					
	○京丹後経済成長戦略新懇話会の開催					850千円
	日本及び京都北部地域、そして京丹後市の経済活性化について、市民及び関係者などがともに考え、行動する契機とするための懇話会を6回開催。					
		開催日	テーマ			
	7月18日	我が国のイノベーション政策	・参加者数 延べ730人			
	8月7日	中小企業・小規模事業者政策について	・費用弁償 33千円			
	9月20日	地域医療と地方創生	・会場借上料 171千円			
	10月23日	繊維産業の未来	・折込手数料 432千円			
	12月2日	最近の近畿管内の経済情勢等について	・印刷製本費 214千円			
	1月31日	丹後と名古屋の大交流新時代				
	○商工業総合振興条例及び新経済戦略プロジェクト100周知パンフレットの作製					
	・印刷製本費（5,000部）					75千円
主な財源						
評価・課題等	○京丹後市新経済戦略推進会議及び企画委員会において検討を行い、施策の計画的な推進を図ることができた。 ○京丹後経済成長戦略新懇話会の開催により、北近畿新時代に向けた産業の振興や活性化について考える契機とすることができた。 ○京丹後市商工業総合振興条例及び新経済戦略に基づく施策の検証とそれに基づく一層の効率的、効果的な推進が必要である。					
事業所管課	商工観光部／商工振興課					

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	10商工業総合振興事業
細 事 業 名	03 経済人材ネットワーク構築・強化事業			決算書 P.260
総 合 計 画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
5,870千円	5,933千円	63千円	98.9 %	6,518千円
目的	松本重太郎翁の偉大な功績を都市部で発信し、京丹後市のPR及びイメージ向上につなげるとともに、関西圏を中心とした経済人材のネットワーク構築・強化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○松本重太郎顕彰プロジェクト・関西経済交流シンポジウム開催事業 5,870千円 ・シンポジウム運営委託料(毎日新聞社との協定による市負担分) 5,374千円 (ホテル会場費、案内チラシ作成費、ステッカー・パンフレット作成費、展示パネル作成費、招待者交通費、毎日新聞採録費(2月24日朝刊掲載)、司会費、基調講演講師謝金、事務費) ・市内参加者送迎バス運行経費(市1台、民間1台) 246千円 (民間バス借上料、市バス運転委託料、ガソリン代、有料道路通行料、駐車場使用料) ・職員派遣経費等(関係企業等訪問、事前打ち合わせ、当日運営) 250千円 (職員旅費、公用車ガソリン代、有料道路通行料、駐車場使用料等) <開催概要> 日 時：平成27年1月26日(月) 15時30分～19時30分 会 場：ホテルグランヴィア大阪(大阪市北区梅田) 内 容：基調講演「松本重太郎翁―果敢なる企業家活動の軌跡と遺したもの―」 講師：大阪大学名誉教授 宮本又郎氏 トークセッション「北近畿の新たな可能性と関西経済の発展」 コーディネーター：小笠原毎日新聞社編集局次長、 パネリスト：宮本大阪大学名誉教授、山中南海電気鉄道(株)取締役会長兼CEO、佐藤大阪商工会議所会頭、萩尾大阪国際フォーラム会長、京丹後市長 経済交流レセプション(名刺交換、京丹後の「食の魅力」発信) 松本重太郎翁特別展			
主な財源	府補 未来づくり交付金(経済人材ネットワーク構築・強化事業)			2,800千円
評価・課題等	○松本重太郎翁の没後100年、生誕170年の節目に翁ゆかりの企業をはじめ、広く近畿一円の企業関係者、行政機関、地元関係者など320人が集まり、翁の顕彰と北近畿の新たな可能性・関西経済の発展について考える良い機会となった。また、経済交流レセプションでは参加者がそれぞれの立場で交流を深め、京丹後市のPRもすることができた。 ○松本重太郎翁の偉大な功績を継承するとともに、これまでの取組を一過性のものとせず継続した取組を行い、本市の経済交流や観光誘客の促進等に繋げていく必要がある。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	10商工業総合振興事業
細事業名	04 商工業振興プロジェクト推進事業			決算書 P.260
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
5,400千円	5,400千円	0千円	100.0 %	0千円
目的	明治期の関西経済の立役者である松本重太郎翁の偉大な功績、起業精神、経営哲学等を顕彰するテレビ番組の制作に協力し、重太郎翁や本市の魅力を広く発信する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○松本重太郎翁テレビ番組制作協力金 5,400千円 ・タイトル 「関西偉人伝説 ～新しいニッポンを作った謎の男～」 ・放送日時 平成26年12月30日（火） 午前6時～6時50分 ・放送エリア 京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、三重県の一部 ・制作、協力 MBS毎日放送・京丹後市			
主な財源	府補	未来づくり交付金（商工業振興プロジェクト推進事業）		2,700千円
評価・課題等	○松本重太郎翁や本市の魅力をテレビ番組の放映を通じて広く発信することができた。 ○今後も重太郎翁の偉大な功績を継承するとともに、番組制作をきっかけに関西圏と本市との経済・企業交流や観光誘客の推進等につなげていく必要がある。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	11地域資源活用プロジェクト創出事業
細事業名	01 地域資源活用プロジェクト創出事業			決算書 P.260
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
491千円	1,006千円	515千円	48.8 %	1,246千円
目的	慶應義塾大学と市内地域等との連携により、コミュニティビジネスの検討や活動を実施することにより地域活性化を図り、あわせて首都圏へ本市の魅力発信を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	昨年度策定した最終報告書「地域づくり計画」に基づき、引き続き峰山南地区にて「域学連携」の活動を慶應義塾大学へ委託し、地域住民とのマップ作りなど地域活性化に向けた取り組みを行い、活動の基盤となる組織を設立することができた。 ○コミュニティビジネスの検討及び実践活動経費 491千円 ・旅費(大学との打ち合わせ) 76千円 ・委託料(大学への地域活性化支援業務委託) 415千円 (活動内容) ・平成26年度活動計画の調整(H26.6.9、市職員と学生によるテレビ会議) 平成26年度の活動計画検討とスケジュール調整会議を開催 ・峰山魅力マップ作りイベントの打ち合わせ(H26.7.19～20、学生5人) 12月に実施するマップ作りイベントの事前協議と準備を実施 ・峰山魅力マップ作りイベント実施(H26.12.20～21、参加者11人) 住民とのフィールドワークやグループワークを通じてマップ作成 ・活動拠点の視察と峰山高校との意見交換 平成27年度活動に関する協議を実施 高校生との連携を図るため、峰山高校との意見交換を実施			
主な財源				
評価・課題等	○今後、継続して地域活性化を図る組織の設立ができた。 ○今後は活動拠点施設の整備なども行い、慶應義塾大学から全国で行われている事例なども紹介しながら、地域課題の解決に向けて取り組む。			
事業所管課	商工観光部/商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	11地域資源活用ビジネス創出事業
細事業名	02 京丹後型ワークスタイル創出事業			決算書 P.260
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目 ④ 商工業の振興	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
389千円	390千円	1千円	99.7 %	390千円
目的	本市の特色を活かした新たなワークスタイルとして、豊かな自然環境と充足した通信インフラ環境等を活用した「テレワーク」を推進し、新たな事業活動の展開を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	新経済戦略に基づき「テレワーク」を推進していくため、株式会社エヌ・ティ・ティ・ピー・シー コミュニケーションズと協定を締結し、テレワークに関する企業ニーズ調査及び市内事業者、創業希望者等を対象としたテレワークに関するセミナーを開催した。 テレワーク関連施策等の共同研究業務 389千円 ・テレワークに関する企業ニーズ調査 5社 ・テレワークの普及・PRに関するセミナー 日時：平成27年2月23日（月）午後2時～3時30分 会場：ら・ぽーと 内容：講演「地域と企業を強くするテレワーク」 講師 ㈱NTTPCコミュニケーションズ 福山 宏氏 参加者数：26人 ・テレワークの環境整備に関する事業化提案			
主な財源				
評価・課題等	○企業ニーズ調査により、ヒアリングを行った5社全てがテレワークを検討していないことがわかったが、企業が人材を出しても良いという魅力づくりが必要である。 ○今後、進出企業が開発した製品のフィールド実証への支援、オフィス整備、住環境の整備、都庁部企業への情報発信等を行う必要がある。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	11地域資源活用ビジネス創出事業												
細事業名	03 地域経済循環創造事業			決算書 P.260												
総合計画	基本方針 I	交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興												
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額												
58,000千円	93,000千円	35,000千円	62.3 %	0千円												
目的	市内の事業者が行う地域活性化に資する取組等に対して支援を実施し、地域経済の循環及び活性化を図る。															
主要な事務・事業及び成果の概要	○地域経済循環創造事業補助金 58,000千円															
	市内の事業者が地域金融機関や大学機関などと連携して実施する取組で、「あと一歩」で実現できるような地域活性化に資する事業を支援し、地域経済の循環及び活性化を図った。															
	<table><tr><th>事業内容</th><th>事業費</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>加工食品製造を通じた京丹後の地元農産・地元水産・地元畜産のブランド化推進事業</td><td>66,851千円</td><td>27,000千円</td></tr><tr><td>織物の職人育成及び市場性の高い織物製品の開発による丹後織物の伝統継承事業</td><td>43,493千円</td><td>20,000千円</td></tr><tr><td>京丹後市の生乳を利用した安全・安心・高品質なヨーグルトの本格製造・販売事業</td><td>28,394千円</td><td>11,000千円</td></tr></table>				事業内容	事業費	補助金額	加工食品製造を通じた京丹後の地元農産・地元水産・地元畜産のブランド化推進事業	66,851千円	27,000千円	織物の職人育成及び市場性の高い織物製品の開発による丹後織物の伝統継承事業	43,493千円	20,000千円	京丹後市の生乳を利用した安全・安心・高品質なヨーグルトの本格製造・販売事業	28,394千円	11,000千円
	事業内容	事業費	補助金額													
	加工食品製造を通じた京丹後の地元農産・地元水産・地元畜産のブランド化推進事業	66,851千円	27,000千円													
	織物の職人育成及び市場性の高い織物製品の開発による丹後織物の伝統継承事業	43,493千円	20,000千円													
	京丹後市の生乳を利用した安全・安心・高品質なヨーグルトの本格製造・販売事業	28,394千円	11,000千円													
	■平成27年度への繰越事業 35,000千円															
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額		58,000千円												
		実質的な執行率		100.0 %												
・地域経済循環創造事業補助金 平成27年10月完了予定 35,000千円																
主な財源	国補 地域経済循環創造事業交付金 (10/10)			58,000千円												
評価・課題等	○市内の事業者が地域金融機関や大学機関などと連携して実施する地域経済の循環を図る取組について、その初期投資に対して支援し、市内商工業の振興及び地域経済の活性化を図った。 ○事業終了後においても関係機関と連携し、取組が円滑に進められるような相談体制等フォローアップが必要となる。															
事業所管課	商工観光部／商工振興課															

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	50商工振興一般経費
細事業名	01 商工振興一般経費			決算書 P.260
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目 ④ 商工業の振興	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,173千円	3,180千円	7千円	99.7 %	2,364千円
目的	地域産業の活性化を図るために活動している団体に対し、その活動を支援するとともに、各種事業の実施により商工振興を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	地域産業の活性化を図るため、産業団体や産業イベントに対する支援を行った。また「GS世代研究会」の活動に参加し、新ビジネス創出の取組などを推進した。 ○おおみや生き活きフェスタ産業文化祭開催費補助金 900千円 「薫る文化・伸びゆく産業」をコンセプトとして実施する「おおみや生き活きフェスタ2014」(産業文化祭)への支援を行った。 開催日: 11月1日(日) 来場者数: 約5,000人 ○丹後地域産業活性化推進会議負担金 1,100千円 KTR利用促進事業、先進地視察、人材育成事業、農・商工・観光連携事業等の活動への支援を行った。 ○出張旅費(普通旅費、有料道路通行料、駐車場使用料等) 1,102千円 GS世代研究会への参加など ○事務費(事務用品費、新聞購読料等) 71千円			
主な財源				
評価・課題等	○産業イベントに対する支援により、地域産業の活性化に寄与した。 ○おおみや生き活きフェスタ産業文化祭開催費補助金については、市の補助金に関する基本方針に基づき、見直しの検討を行っていく必要がある。			
事業所管課	商工観光部/商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	03商工施設費	01峰山織物センター管理運営事業		
細事業名	01 峰山織物センター管理運営事業			決算書 P.260		
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額		
3,569千円	3,734千円	165千円	95.5 %	3,530千円		
目的	峰山織物センターを管理運営することで、市民の織物に関する知識の修得等に寄与するとともに、市民の福祉の増進を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	市民に安全かつ快適に施設を利用いただくため、適正な管理運営を行った。					
	○延べ利用人数 13,427人					
	○管理運営費 3,569千円					
	・宿日直代行業務委託料 1,486千円					
	・電気代、上下水道代 1,101千円					
	・機械警備委託料等 103千円					
	・土地借上料(203㎡) 412千円					
	・消耗品費、燃料費、印刷製本費、修繕料、備品購入費等 273千円					
	・電話代 45千円					
	・公有建物共済分担金、テレビ受信料等 21千円					
・峰山織物センター専用駐車場工事費 128千円						
○目的別利用件数 (単位: 件)						
会議	研修	教室	サークル活動	スポーツ・レクリエーション	その他	合計
151	165	123	65	521	30	1,055
○部屋別利用件数						
大会議室	小会議室	教養室	第1・2研修室	合計		
520	178	74	283	1,055		
主な財源	使用料	公有財産使用料			116千円	
	使用料	峰山織物センター使用料			136千円	
評価・課題等	職業訓練、教室・サークル活動を行う施設として多くの利用があり、各種活動の推進に寄与した。					
事業所管課		商工観光部/商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	03商工施設費	02商工施設指定管理運営事業
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.262
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
5,282千円	5,395千円	113千円	97.9 %	5,488千円
目的	市内商工施設の適正な管理運営を行い、施設利用者の利便性の向上と、あわせて商工業の振興を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	大宮織物ホール、丹後商業活性化センター等の施設について、京丹後市商工会を指定管理者として管理運営を委託し、適正な管理運営を行った。 ○指定管理委託料 4,432千円 ・大宮織物ホール 3,989千円 施設利用者数：延231回、6,323人（太極拳、よさこい、ダンス等） ・丹後商業活性化センター 443千円 施設利用団体：1階＝間人連合区他 2階＝京丹後市商工会丹後支所 ○火災保険料 86千円 ・大宮織物ホール、丹後商業活性化センター、商工活性センター 弥栄機業センター ○土地借上料 334千円 ・大宮織物ホール土地借上料（2,470㎡） ○不動産鑑定委託料 430千円 ・商工活性センター譲渡に係る不動産鑑定委託料			
主な財源	使用料 諸収入	公有財産使用料 大宮織物ホール電気料	2,358千円 234千円	
評価・課題等	指定管理者により市内商工施設の適正な管理運営を行うことで、施設利用者の利便性の向上につながるとともに、商工業の振興に寄与した。			
事業所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	03商工施設費	50商工施設一般経費		
細事業名	01 商工施設一般経費				決算書	P.262
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興		
決算額 ①	最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
104千円	106千円		2千円	98.1 %	70千円	
目的	商工業の振興に資する施設の維持管理を行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○商店街駐車場外灯維持管理費（旧小谷医院跡地）（電気代）					6千円
	○あしぎぬ苑水道料					12千円
	○あしぎぬ苑管理委託料（委託先：鳥取老人会）					52千円
	○弥栄機業センター電気代等負担金					4千円
	○大宮織物ホール修繕料					30千円
主な財源	諸収入 弥栄機業センター光熱水費負担金					4千円
評価・課題等	商工業、織物業の振興を目的とした施設の適正な管理運営を行うことができた。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	01観光協会等支援事業	
細事業名	01 観光協会等支援事業				決算書 P.262
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
30,984千円	34,833千円	3,849千円	88.9 %	34,833千円	
目的	京丹後市観光協会の活動を支援し、京丹後市の観光について総合的な振興を図り、地域一体となった観光を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	「第2次京丹後市観光振興計画」、「海の京都構想」等を念頭に置き、地域特性と地域観光資源を活かした顧客誘致戦略プロジェクトをはじめ、広報宣伝活動、インバウンド推進事業、誘客事業等の強化を図った。 また、観光情報センターにおけるワンストップ窓口としての情報発信を支援した。				
	○観光協会活動補助金				29,485千円
	【事業費 23,269千円】				
	広告宣伝事業（関西・中部エリア誘客宣伝、ニーズリサーチ等）				4,164千円
	誘客イベント事業（顧客誘致戦略プロジェクトによる事業推進等）				1,554千円
	支部活動費				5,000千円
	インバウンド推進事業（タイゲア招へい、韓国浦項市受入等）				2,214千円
	観光情報センター事業（人件費、管理費）				10,255千円
	行事費				82千円
	【人件費 5,326千円】				
観光協会職員の給与、法定福利費等				5,326千円	
※正職員1人、臨時職員3人					
【管理費 890千円】					
旅費、通信費、事務費等				890千円	
○広域誘客活動事業委託料				1,499千円	
総合パンフレット増刷（46,000部）				840千円	
冬季観光ポスター作成（1,200枚）・掲出料等				486千円	
広告ツール作成（ミニのぼり）				173千円	
主な財源	府補 未来づくり交付金（観光協会補助金）				5,800千円
評価・課題等	○活動を支援することで、事業計画に基づき、概ね順調に事業が実施され、総合的かつ地域と一体となった観光振興が推進された。 ○今後も効率的な組織運営と効果的な誘客活動を推進していく必要がある。				
事業所管課		商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	02観光宣伝事業		
細事業名	01 観光宣伝活動事業				決算書	P.262
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
5,769千円	5,803千円	34千円	99.4 %	3,594千円		
目的	各種広報媒体の活用、イベントでのキャンペーン、広域観光団体との連携等によるPR活動により、本市の豊富な観光資源を発信し、観光客誘致の促進を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○観光宣伝活動等事務事業経費（旅費、有料道路通行料等）					440千円
	※主なPR活動等実績					
	NHK大河ドラマ誘致協議会啓発イベント／北近畿観光連盟キャラバン					
	Sea級グルメ全国大会in尾道／天女サミット／海フェスタ京都					
	舞鶴港大型客船寄港セレモニー					
	○啓発物品購入等					284千円
	・丹後ちりめんティッシュケース（500個）					154千円
	・丹後ちりめんコップちゃん（300個）					30千円
	・その他啓発品購入及び事務経費					100千円
	○誘客イベント映像等発信及び広告掲載等経費					2,853千円
・FM京都広告（4回）、雑誌等広告掲載（道の駅旅案内2回）					778千円	
・京丹後市ニコニコ動画チャンネル運営委託業務					1,944千円	
・松本重太郎特別番組PR経費（印刷製本、折込手数料）					116千円	
・取材対応に関する各種経費等					15千円	
○広域観光団体負担金					2,192千円	
・京都府観光連盟					390千円	
・北近畿広域観光連盟					1,196千円	
・歴史街道推進協議会					100千円	
・NHK大河ドラマ誘致推進協議会					400千円	
・因幡・但馬・丹後観光協議会					106千円	
主な財源	府補 未来づくり交付金（観光宣伝活動事業）					1,200千円
評価・課題等	○多様なメディアを活用した観光情報の発信及び広域観光団体と連携したPR活動等を行い、観光誘客の促進を図った。 ○京都縦貫自動車道の全線開通や京都駅発の特急早着便の運行を見据え、京都市内周辺及び中京圏等からの動線を意識した、より効果的な情報発信等を実施する必要がある。					
事業所管課	商工観光部／観光振興課					

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	02観光宣伝事業	
細事業名	02 観光サイン整備管理事業				決算書 P.262
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
1,333千円	1,340千円	7千円	99.4 %	2,064千円	
目的	市のイメージ及び自然景観に配慮した統一デザインによる観光サインを整備することにより、観光客の利便性の向上及び市のイメージアップを図り、誘客を促進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	既存観光サイン（案内看板等）の適切な維持管理等を実施した。 ○観光サイン電気料 28千円 ・ 歓迎サイン 2基（久美浜町河梨地内、与謝野町上山田地内） ・ 電光掲示サイン 2基（峰山町長岡地内、大宮町谷内地内） ○電光掲示板通信料 46千円 ・ 電光掲示板データ通信 2基（峰山町長岡地内、大宮町谷内地内） ○観光サイン修正業務委託料 159千円 ・ 「丹後あじわいの郷」名称変更等に伴うもの 8基 ○観光サイン設置用地借上料 507千円 ・ 44か所（京丹後市内：40か所、与謝野町内：1か所、福知山市内：2か所、宮津市内：1か所） ○観光サインの移設等工事 455千円 ・ 2か所（移設：網野町小浜地内、撤去：網野町浅茂川地内） ○電光掲示板撤去工事負担金 138千円 ・ 1か所（峰山町長岡地内）				
主な財源					
評価・課題等	観光サインの適切な維持管理を進め、観光客の利便性のより一層の向上と観光地のPRを図った。				
事業所管課	商工観光部／観光振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	02観光宣伝事業	
細事業名	03 イバウンド推進事業				決算書 P.262
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
193千円	211千円	18千円	91.4 %	298千円	
目的	季節・曜日を限定しない外国からの旅行客誘致を促進し、二季（夏・冬）、週末だけでなく年間を通じての観光入込客の増加を目指す。				
主要な事務・事業及び成果の概要	平成24年度の国際フェリートライアルをきっかけに交流を続けている韓国浦項市を京都府・舞鶴市とともに訪問し、観光関係者との交流及び観光PRを行った。 また、市観光協会がタイのメディアチーム（エアアジア、テレビ局関係者及びパワーブローガー）を招へいし、京丹後の撮影が行われた際、市観光協会と共催で来日歓迎レセプションを行い、積極的な受入態勢をPRした。 ○第11回浦項国際火と光まつり参加 （平成26年7月30日～8月3日 於：韓国慶尚北道浦項市） 141千円 ・職員出張旅費（4泊5日、1人） 123千円 ・消耗品費 18千円 ○浦項市青少年交流訪問団受け入れ 12千円 （平成27年1月24日～25日） ・体験活動指導料 ○タイメディアチーム来日歓迎レセプション 40千円 （平成27年3月12日） ・レセプション会場使用料				
主な財源					
評価・課題等	○浦項市との交流をきっかけに初めて韓国の青少年交流訪問団を受け入れ、教育旅行誘致への糸口を得ることができた。 ○査証（ビザ）緩和等により訪日客が大幅な伸びをみせている東南アジア諸国等、ターゲットを明確に設定しながら、観光協会と連携した誘客活動を促進する必要がある。 ○宿泊施設等の受入環境整備を一層推進していく必要がある。				
事業所管課	商工観光部／観光振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	03水難対策事業
細事業名	01 水難対策事業			決算書 P.264
総合計画	基本方針 I 交流経済都市			計画項目 ⑤ 観光の振興
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
15,115千円	15,507千円	392千円	97.4 %	14,089千円
目的	救急時の連絡体制の整備や救命機器を備え、海水浴場の安全性を高める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	本市観光の柱の一つである夏季海水浴による誘客を促進するため、全海水浴場（15海水浴場、17連絡所）へ連絡員（延べ76人）を配置するとともに、AEDを配備するなど、安全・安心な海水浴を楽しめる環境を提供した。 ○報償費 連絡員業務説明会講師謝金 197 千円 ○旅費 普通旅費（海難防止推進連絡会議） 2 千円 ○需用費 連絡所消耗品、医薬品 1,797 千円 拡声器等修繕 187 千円 ○役務費 連絡所仮設電話料金等 185 千円 ○委託料 海水浴場放送設備設置委託料 343 千円 連絡員業務委託料 11,930 千円 ・（一社）京丹後市観光協会（丹後町・久美浜町域） 7,929 千円 ・（株）研サービス（浅茂川海水浴場） 976 千円 ・小浜観光協会（小浜海水浴場） 729 千円 ・掛津区（琴引浜掛津海水浴場） 632 千円 ・遊区（琴引浜遊海水浴場） 624 千円 ・浜詰区（浜詰海水浴場） 1,040 千円 水難啓発救助委託料（マリンレスキュー網野） 80 千円 ○使用料及び賃借料 連絡所月コンテナハウス借上料（6棟） 331 千円 ○備品購入費 トランシーバー（4台） 63 千円			
主な財源	府補 未来づくり交付金（水難対策事業）			5,900千円
評価・課題等	平成26年5月に施行された「京都府遊泳者及びプレジャーボートの事故の防止等に関する条例」を遵守した連絡員の配置、救護備品等を整備し、安全・安心な海水浴場を提供することができ、観光振興に資することができた。			
事業所管課	商工観光部／スポーツ観光・交流課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業	
細事業名	01 観光業等活性化推進事業補助金			決算書	P.266
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
1,800千円	1,800千円	0千円	100.0 %	2,000千円	
目的	民間事業者及び市民団体等が実施する交流人口の拡大に寄与する事業の開催を支援し、観光のまちづくりを推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	多様な地域資源を活かし、地域経済への波及効果があり、地域文化の振興につながるなど、まちの活性化及び交流人口の拡大に寄与する各種大会を主催する団体に対し、大会関係者が宿泊した延べ人数に応じて定める補助金を交付した。				
	○観光業等活性化推進事業補助金 1,800 千円 (単位：人、千円)				
	大会名	補助申請者	宿泊者数	参加者数	対象事業費 補助金額
	網野グリーンカップ少年サッカー大会	同実行委員会	184	260	236 100
	スプリングフレンドリー2014	京丹後市サッカー協会	106	110	120 100
	フレンドリーフェスタU-15	京丹後市サッカー協会	105	110	60 100
	2014ユースフレンドリー	京丹後市サッカー協会	198	150	54 100
	網野カップ少年サッカー大会	同実行委員会	2,904	2,200	5,027 700
	サマーカップ2014	網野スポーツクラブ	145	250	186 100
	メグミルクカップ	京丹後市サッカー協会	252	280	180 100
京丹後ボーイズ親善大会	京丹後ボーイズ	282	476	236 100	
Kids & Girls Cup	京丹後市サッカー協会	102	210	212 100	
浦島カップin網野 少年サッカー大会U-11	網野スポーツクラブ	135	260	219 100	
支部選抜チャレンジマッチin AMINO	京丹後市サッカー協会	147	182	148 100	
カニの町「丹後町」親善ゲートボール大会	同実行委員会	112	182	515 100	
合計			4,672	4,670	7,193 1,800
※補助基準	宿泊延べ人数		補助金額		
	100人以上500人未満		100千円以内		
	500人以上1,000人未満		300千円以内		
	1,000人以上2,000人未満		500千円以内		
	2,000人以上		700千円以内		
主な財源					
評価・課題等	○補助対象となった12大会において延べ4,672人の宿泊があり、交流人口の拡大、宿泊などによる地域経済への波及効果があった。 ○より幅広い団体及び事業への活用を促し、本制度の効果拡大を図る必要がある。				
事業所管課	商工観光部／スポーツ観光・交流課				

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業
細事業名	02 観光振興計画推進事業			決算書 P.266
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
4,379千円	5,303千円	924千円	82.5 %	5,303千円
目的	高速道路の延伸を見据えて整備を検討する観光休憩所用地の適地調査を行うとともに、人材育成研修を実施し、観光推進体制の強化を図る。			
主要な事業・事業及び成果の概要	○京丹後市観光休憩所用地調査業務委託 3,024千円 観光客等へ快適かつ利便的な滞在環境を提供するために整備を検討する、公衆トイレ及び大型バス等の駐車場を備えた観光休憩所用地の適地調査・研究業務を実施。 ○人材育成イノベーション研修業務委託 1,355千円 観光推進体制の強化を目的に、市、市観光協会、市商工会の職員を対象に、やる気を引き出し主体的に動く人材育成イノベーション研修を実施。 ・研修業務委託先：株式会社リクルートライフスタイル ・研修対象職員：商工観光部13人、観光協会1人、商工会1人 計 15人 ・研修期間：平成26年4月～6月（3回開催） ・研修内容：テーマ「人とつながり巻き込むためのコミュニケーション」			
主な財源	府補 未交付金（観光業等活性化推進事業）			1,500千円
評価・課題等	○観光休憩所用地調査の結果に基づき、整備に向けた今後の検討をさらに進めていく必要がある。 ○職員研修では、チームごとのプロジェクトを通じて各自が役割を考え、主体的に行動していくというチームリーダーシップの醸成が図られた。			
事業所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業
細事業名	03 ほんもの体験観光のまち推進事業			決算書 P.266
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,199千円	1,200千円	1千円	99.9 %	0千円
目的	市内の個人・団体等が主体的に行う取組やイベント等、市のあらゆる地域資源を観光情報として発信し、着地型観光の推進と観光誘客を図る。			
主要な事業・事業及び成果の概要	平成27年度の京都縦貫自動車道全線開通を機に、特に乗用車を利用した個人旅行客の増加が見込まれることを受け、市内で行われる体験やイベント等を中心に、多様な地域資源を集約した観光パンフレットを作成した。 ○京丹後まるごと観光パンフレット2015春夏版作成業務 1,199千円 ・タイトル わくわく京丹後へGO！（2015春・夏） ・規格等 A4版20頁、カラー、10,000部 ・配架箇所 高速道路SA・PA、市内外の道の駅、市内観光施設、市内コンビニエンスストア、市観光案内所（網野駅構内）			
主な財源				
評価・課題等	○体験プログラムやイベント情報を公募し収集したことで、多様な地域資源を集約したパンフレットを作成し、着地型観光の情報発信を図ることができた。 ○今後も四季折々の体験プログラム等の掲載を行い、着地型旅行商品の造成、エリアやテーマに沿ったモデルコースの提案につなげるとともに、宿泊施設等と連携した的確な情報発信に努める必要がある。			
事業所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業
細事業名	05 教育旅行等誘致促進事業			決算書 P.266
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目 ⑤ 観光の振興	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
325千円	437千円	112千円	74.3 %	635千円
目的	市内体育施設等を活用した学生合宿及び体験学習等の教育旅行を誘致し、交流人口及び宿泊客数の増加を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	京阪神地域の大学からのスポーツ合宿の誘致をはじめ、教育旅行の誘致を行うため、学校や教育委員会、旅行会社等を訪問し、PR活動を実施した。さらに効果的な情報発信を行うためにイベントへの出展や情報誌への広告掲載等を行った。 ○合宿・教育旅行誘致活動（学校・企業訪問等） 48千円 ・職員旅費 ※訪問実績：団体、大学、小・中学校、旅行会社 計7団体 ○修学旅行誘致PRパンフレットデザイン作成手数料 97千円 ・農商工観の教育体験プログラム（田舎体験、丹後ちりめん工場見学、ジオパーク体験、環境教育等）を掲載したパンフレット用デザインの作成 ○合宿誘致等にかかる情報発信【担当：スポーツ観光・交流課】 180千円 ・合宿専門誌「ザ・合宿」へ広告掲載及びPR活動			
主な財源				
評価・課題等	○多数の大学が加盟する学生団体や旅行会社等への訪問、専門情報誌への広告掲載並びに都市部のイベントでのPR等、効果的な情報発信による誘致活動を推進した。 ○市内の伝統産業や農村文化等の地域資源を活用した教育旅行のモデルツアーを実施するなど、誘致の実現につなげるための検討、検証をさらに進める必要がある。			
事業所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業
細事業名	06 フィルムコミッション推進事業			決算書 P.266
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目 ⑤ 観光の振興	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
980千円	1,132千円	152千円	86.5 %	1,429千円
目的	映画、CM等の映像化による本市の全国的な知名度向上やイメージアップ並びに観光客等の交流人口の増加、撮影隊滞在による経済効果を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	テレビ局や制作会社等への訪問や、ジャパンフィルムコミッションと連携したロケ誘致イベント等でのPRを行い、撮影誘致を行った。さらには「京丹後フィルムウィーク」を開催し、映像誘致による観光まちづくりや、撮影支援に対する市民参画の意識の向上を図った。 ○誘致活動等経費（旅費、有料道路通行料等） 190千円 ※主なPR活動実績 ・映画制作会社並びにテレビ局訪問（4社） ・撮影支援関係団体等訪問（5社） ・京都映画市PRブース出展、全国ロケ地フェア2015（東京） ※H26誘致等実績 問合せ48件、映像化28件（ドラマ、紀行番組、ミュージックビデオ等） ○京丹後フィルムウィーク2015 690千円 日時：平成27年3月27日（金） 場所：京都府丹後文化会館 主催：京丹後フィルムコミッション（共催：京丹後市） 参加：約500人 ・映画「利休にたすねよ」上映委託 324千円 ・講演会講師報償費等 71千円 ・チラシ印刷及び折込手数料、展示パネル及び看板作成等 191千円 ・施設使用料 104千円 ○ジャパン・フィルムコミッション負担金 100千円 ・加入団体：正会員104団体（平成27年5月1日現在）			
主な財源				
評価・課題等	○京阪神のテレビ局や関係団体等の訪問並びに全国ロケ地フェア等でのPRにより、撮影地の誘致を推進した。 ○市内が撮影地になった作品の上映会を開催し、映像化を通じた観光まちづくりやフィルムコミッションの活動について周知することができた。 ○中京圏でのPRや京都縦貫自動車道の全線開通を打ち出した誘致の取組を推進する必要がある。			
事業所管課	商工観光部／観光振興課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04観光のまちづくり推進事業
細 事 業 名	07 丹後半島リ-開催支援事業			決算書 P.266
総 合 計 画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
887千円	1,182千円		295千円	75.0 % 1,182千円
目 的	全日本ラリー選手権の開催を支援し、新たな観光客誘致を図るための宣伝活動の場とする。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	全日本ラリー選手権ならではの迫力ある大会が丹後で開催されたことにより、新たな観光客の誘致を図ることができた。 ○ 需用費 消耗品、水道料金 5 千円 ○ 役務費 FMたんご広告料、水道開栓手数料 110 千円 ○ 委託料 会場設営委託料（丹後文化会館駐車場） 772 千円 大会開催日：平成26年8月29日～8月31日 出走台数：65台 ギャラリーステージ（丹後あじわいの郷）観客約2,300人			
主 な 財 源				
評 価 ・ 課 題 等	市外から多数の観戦客と、延べ800人を超える宿泊があるなど、交流人口の拡大、宿泊、食事、土産代などによる地域経済への波及効果があった。			
事 業 所 管 課	商工観光部／スポーツ観光・交流課			

予 算 科 目		07商工費		01商工費		04観光振興費		05観光の魅力づくり推進事業																																																														
細 事 業 名								01 観光の魅力づくり推進事業		決算書		P.266																																																										
総 合 計 画		基本方針		I 交流経済都市				計画項目		⑤ 観光の振興																																																												
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額																																																														
49,170千円		49,254千円		84千円		99.8 %		30,111千円																																																														
目 的		観光の魅力づくりに寄与する事業に対して補助金を交付し、本市の美しい自然や景観、歴史、文化、産業等豊かな資源を活かした個性ある観光地づくりを推進する。																																																																				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要		山陰海岸ジオパークの恵みである豊富な観光資源を活用した魅力ある観光地づくりを推進するため、観光インフラ整備等促進実行調整費基金を活用し補助金を交付した。																																																																				
		○観光の魅力づくり推進事業補助金 49,143千円 (単位：千円)																																																																				
		<table><tr><th colspan="2">事業名</th><th>事業費</th><th>補助金</th></tr><tr><td rowspan="10">温泉源掘削、維持管理及び配湯施設整備事業</td><td>八丁浜小浜温泉 泉源改修事業</td><td>9,337</td><td>5,000</td></tr><tr><td>丹後神野温泉 泉源改修事業</td><td>107</td><td>96</td></tr><tr><td>丹後神野温泉 泉源改修事業</td><td>6,160</td><td>604</td></tr><tr><td>久美浜カンツリー温泉 貯湯槽改修事業</td><td>6,296</td><td>665</td></tr><tr><td>鳴き砂温泉 配管等改修事業</td><td>10,682</td><td>5,000</td></tr><tr><td>浅茂川浦島温泉 予備ポンプ整備事業</td><td>2,270</td><td>2,042</td></tr><tr><td>長者の湯 取水ポンプ整備事業</td><td>1,318</td><td>658</td></tr><tr><td>夕日ヶ浦温泉 配管等改修事業</td><td>5,118</td><td>4,605</td></tr><tr><td>小天橋温泉 取水ポンプ整備事業</td><td>2,260</td><td>2,034</td></tr><tr><td rowspan="4">環境保全整備事業</td><td>浜詰海岸 海岸清掃機器整備事業</td><td>19,000</td><td>17,100</td></tr><tr><td>丹後町海岸 海岸清掃機器整備事業</td><td>6,160</td><td>5,544</td></tr><tr><td>小天橋海岸 海岸清掃機器整備事業</td><td>1,393</td><td>1,253</td></tr><tr><td>琴引浜海岸(掛津) 海岸清掃機器整備事業</td><td>3,500</td><td>3,150</td></tr><tr><td>誘客施設整備事業</td><td>浜詰地区 修景整備事業</td><td>1,377</td><td>1,032</td></tr><tr><td>その他</td><td>丹後町地域 体験観光機器整備事業</td><td>400</td><td>360</td></tr><tr><td colspan="2">計(15件)</td><td>75,378</td><td>49,143</td></tr></table>												事業名		事業費	補助金	温泉源掘削、維持管理及び配湯施設整備事業	八丁浜小浜温泉 泉源改修事業	9,337	5,000	丹後神野温泉 泉源改修事業	107	96	丹後神野温泉 泉源改修事業	6,160	604	久美浜カンツリー温泉 貯湯槽改修事業	6,296	665	鳴き砂温泉 配管等改修事業	10,682	5,000	浅茂川浦島温泉 予備ポンプ整備事業	2,270	2,042	長者の湯 取水ポンプ整備事業	1,318	658	夕日ヶ浦温泉 配管等改修事業	5,118	4,605	小天橋温泉 取水ポンプ整備事業	2,260	2,034	環境保全整備事業	浜詰海岸 海岸清掃機器整備事業	19,000	17,100	丹後町海岸 海岸清掃機器整備事業	6,160	5,544	小天橋海岸 海岸清掃機器整備事業	1,393	1,253	琴引浜海岸(掛津) 海岸清掃機器整備事業	3,500	3,150	誘客施設整備事業	浜詰地区 修景整備事業	1,377	1,032	その他	丹後町地域 体験観光機器整備事業	400	360	計(15件)		75,378	49,143
		事業名		事業費	補助金																																																																	
		温泉源掘削、維持管理及び配湯施設整備事業	八丁浜小浜温泉 泉源改修事業	9,337	5,000																																																																	
			丹後神野温泉 泉源改修事業	107	96																																																																	
			丹後神野温泉 泉源改修事業	6,160	604																																																																	
			久美浜カンツリー温泉 貯湯槽改修事業	6,296	665																																																																	
			鳴き砂温泉 配管等改修事業	10,682	5,000																																																																	
			浅茂川浦島温泉 予備ポンプ整備事業	2,270	2,042																																																																	
			長者の湯 取水ポンプ整備事業	1,318	658																																																																	
			夕日ヶ浦温泉 配管等改修事業	5,118	4,605																																																																	
			小天橋温泉 取水ポンプ整備事業	2,260	2,034																																																																	
			環境保全整備事業	浜詰海岸 海岸清掃機器整備事業	19,000	17,100																																																																
		丹後町海岸 海岸清掃機器整備事業		6,160	5,544																																																																	
小天橋海岸 海岸清掃機器整備事業	1,393	1,253																																																																				
琴引浜海岸(掛津) 海岸清掃機器整備事業	3,500	3,150																																																																				
誘客施設整備事業	浜詰地区 修景整備事業	1,377	1,032																																																																			
その他	丹後町地域 体験観光機器整備事業	400	360																																																																			
計(15件)		75,378	49,143																																																																			
○観光インフラ整備等基金調整会議費(委員16人) 27千円																																																																						
報償金 4,000円×6人(1回開催) 24千円																																																																						
費用弁償 3千円																																																																						
主 な 財 源		繰入金 観光インフラ整備等促進実行調整費基金繰入金 49,143千円																																																																				
評 価 ・ 課 題 等		温泉の泉源維持管理等観光地づくりに有益な事業に対して支援を行い、観光の魅力づくりを推進することができた。																																																																				
事 業 所 管 課		商工観光部／観光振興課																																																																				

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	06観光バリエーション整備等促進実行調整費基金
細事業名	01 観光バリエーション整備等促進実行調整費基金			決算書 P.266
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
49,480千円	49,481千円	1千円	99.9%	11千円
目的	観光地として魅力ある環境整備を推進することを目的とした観光バリエーション整備等促進実行調整費基金への積立金			
主要な事務・事業及び成果の概要	○観光バリエーション整備等促進実行調整費基金積立金 49,455千円 (平成25年度入湯税収入相当額 49,455,450円)			
	○過疎地域振興基金積立金(利子分) 25千円			
	(参考) 基金の状況 (単位:千円)			
	平成25年度末 現在高 ①	平成26年度中増減額		平成26年度末 現在高 ①-②+(③+④)
		繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④
	59,059	50,000	25	49,455
	58,539			
	(充当先:2事業)			
	・観光の魅力づくり推進事業 49,143千円 (海岸清掃美化機器整備補助ほか)			
	・指定管理施設大規模改修事業 857千円 (宇川温泉よし野の里宿泊棟ウッドデッキ改修ほか)			
合計 50,000千円				
主な財源	財産収入 観光バリエーション整備等促進実行調整費基金利子収入			25千円
評価・課題等				
事業所管課	財務部/財政課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	07地域活性化支援事業
細事業名	01 地域活性化支援事業			決算書 P.266
総合計画	基本方針 I	交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
7,960千円	7,960千円	0千円	100.0%	8,410千円
目的	地域活性化及び観光振興に寄与するイベントについて支援を行い、観光客の誘致を促進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	地域活性化及び観光振興を目的に開催されるイベントに対し補助金を交付した。			
	〇いかり高原まつり			870 千円
	総事業費：1,027千円、開催日：6月1日、来場者：約2,000人			
	〇やさか納涼祭			2,500 千円
	総事業費：4,399千円、開催日：7月19日、来場者：約6,000人			
	〇間人みなと祭			720 千円
	総事業費：3,035千円、開催日：7月25日、来場者：約10,000人			
〇フェスタ「飛天」in京丹後			3,450 千円	
総事業費：5,905千円、開催日：8月2日、来場者：約11,000人				
〇宇川観光祭	420 千円			
	中浜港祭り	総事業費：470千円、開催日：7月26日、来場者：約500人		
	宇川アユ祭り	総事業費：343千円、開催日：8月15日、来場者：約300人		
	穴文殊祭典	総事業費：632千円、開催日：8月24日、来場者：約500人		
主な財源	府補	未来づくり交付金(71%「飛天」実行委員会補助金)		1,700千円
	繰入金	地域振興基金繰入金		2,000千円
評価・課題等	各事業を支援することで、地域活性化及び観光振興の促進が図られた。			
事業所管課	商工観光部／スポーツ観光・交流課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	08あじわいの郷支援事業								
細 事 業 名	01 あじわいの郷支援事業			決算書 P.268								
総 合 計 画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興								
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額								
28,908千円	28,911千円	3千円	99.9 %	28,911千円								
目 的	丹後あじわいの郷の運営及び各種イベントの開催を支援し、丹後あじわいの郷の利用促進を図る。											
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	○あじわいの郷運営費負担金			28,640千円								
	<table><tr><td>内 訳</td><td>金 額</td></tr><tr><td>財団運営人件費等負担分</td><td>4,600千円</td></tr><tr><td>施設維持管理費負担分</td><td>2,800千円</td></tr><tr><td>あじわいの郷運営費負担分</td><td>21,240千円</td></tr></table>		内 訳	金 額	財団運営人件費等負担分	4,600千円	施設維持管理費負担分	2,800千円	あじわいの郷運営費負担分	21,240千円		
	内 訳	金 額										
	財団運営人件費等負担分	4,600千円										
	施設維持管理費負担分	2,800千円										
	あじわいの郷運営費負担分	21,240千円										
	○火災保険料（展望台・昆虫館・売店）			13千円								
	○土地借上料（臨時駐車場等：弥栄町鳥取地内）			255千円								
	(丹後あじわいの郷利用状況)											
	<table><tr><td>平成24年度</td><td>109,121人</td></tr><tr><td>平成25年度</td><td>109,242人</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>105,107人</td></tr></table>		平成24年度	109,121人	平成25年度	109,242人	平成26年度	105,107人	(平成26年4～11月の利用状況) ※			
平成24年度	109,121人											
平成25年度	109,242人											
平成26年度	105,107人											
※ 平成26年12月から27年3月までは改装のため休業												
主 な 財 源												
評 価 ・ 課 題 等	○平成27年度からの『丹後王国「食のみやこ」』へのリニューアルに向け、4か月間休業していたが、4月から11月までの入園者数は、平成25年度における同じ期間中の実績を上回ることができた。 ○農商工観光連携の重要な拠点施設であるため、他の施設との連携を図りながら運営され、より一層の利用促進が図られるよう支援する。											
事 業 所 管 課	農林水産環境部／農政課											

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	10ｽﾎﾟｰﾂのまちづくり推進事業
細 事 業 名	01 ｽﾎﾟｰﾂのまちづくり情報発信事業			決算書 P.268
総 合 計 画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目 ⑤ 観光の振興	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額
5,772千円	5,889千円	117千円	98.0 %	5,889千円
目的	スポーツ広報誌「京たんごスポーツ」を発行し、スポーツを活用した観光誘客と地域経済の好循環化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	スポーツ広報誌「京たんごスポーツ」の発行 ○旅費 取材等旅費 12 千円 ○需用費 消耗品費（事務用品） 16 千円 ○役務費 通信運搬費（アンケート郵送料） 17 千円 ○委託料 スポーツ観光・交流のまちづくり情報誌制作委託料 5,727 千円 隔月発行 タブロイド判、4色カラー刷 22,000部×6回 市内小・中・高等学校、KTR主要駅、観光事業所等に配架			
主な財源	諸収入	地方公共団体ｽﾎﾟｰﾂ活動助成金		3,744千円
評価・課題等	○読者アンケートを基に掲載内容等の精査を行い、より魅力的な紙面づくりを行うことができた。 ○市外向けの大会情報、観光情報を織り交ぜて発信するなど、さらなる観光・交流人口の増につながる紙面づくりを図る必要がある。			
事業所管課	商工観光部／スポーツ観光・交流課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	10スポーツのまちづくり推進事業
細事業名	02 スポーツイベント推進事業			決算書 P.268
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目 ⑤ 観光の振興	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
10,075千円	10,454千円	379千円	96.3 %	11,140千円
目的	本市で様々なスポーツイベントを開催することにより交流人口の増加を図るとともに、大会を通じて全国へ本市の魅力をPRをする。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○報償費 292 千円 - スポーツボランティア講演会講師謝金 ○旅費 31 千円 - 会議出張旅費 ○需用費 10 千円 - 事務消耗品 ○ 2014京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会 1,800 千円 - 開催日：8月3日（日） ・ドラゴンカヌー大会補助金 1,800 千円 ・参加クルー 92チーム 来場者数：約3,500人 ○ 2014歴史街道丹後100kmウルトラマラソン 4,991 千円 - 開催日：9月14日（日） ・丹後100kmウルトラマラソン補助金 4,458 千円 ・参加者送迎用バス運転委託料 533 千円 ・参加者数 3,358名 ○ 丹後大学駅伝（第76回関西学生対校駅伝競走大会） 940 千円 - 開催日：11月22日（土） ・丹後大学駅伝後援会負担金 900 千円 ・有料道路通行料、公用車燃料費 40 千円 ・参加校 20校 ○臨時職員経費 2,011 千円 - 賃金、各種保険料（4月～11月）			
主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 200千円			
評価・課題等	○スポーツイベントを開催し、交流人口の増大と京丹後市の魅力を全国に発信することができた。 ○スポーツイベントを支える仕組みづくりを構築する必要がある。			
事業所管課	商工観光部／スポーツ観光・交流課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	12海の京都推進事業
細事業名	01 海の京都推進事業			決算書 P.268
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目 ⑤ 観光の振興	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
8,946千円	8,946千円	0千円	100.0 %	13,742千円
目的	日本の顔となるブランド観光地域をめざし、京都府及び北部5市2町が連携して取り組む「海の京都」関連事業を推進することにより、誘客と滞在の促進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○海フェスタ京都参加経費（バス燃料費等） 24千円 - 海の京都イベントとして平成26年7月に舞鶴市で開催された「海フェスタ京都」の記念式典へ、市内関係者とともに参加した。 ○海の京都観光推進協議会分担金 7,422千円 - 府及び北部7市町、商工観光関係団体によって構成される協議会への分担金を支出し、関連事業に参画した。 ※主な事業 ・海の京都観光圏認定（平成26年7月）に向けた取組などの組織活動 ・中部圏メディア等を活用したプロモーション活動 ・首都圏メディアによる海の京都特別番組の制作、放送 ・大型クルーズ船寄港に伴うPR活動等誘客連携事業 ○海の京都推進事業補助金 1,500千円 「海の京都」京丹後市マスタープランにあげられた、観光商品の企画・開発や民間施設の整備等の事業に取り組む「海の京都」京丹後市実践会議に対し、積極的な事業の推進を図るため補助金を交付した。 ※主な事業 ・「漁師めし」の企画開発、準備 ・夕日の路への「夕日を見るベンチ」整備 ・「海の京料理」の企画開発			
主な財源				
評価・課題等	○「海の京都」京丹後市マスタープランに基づき、平成27年度のターゲットイヤーを目指して各エリアで取組を推進することができた。 ○今後は、市や観光協会の進める周遊交通の整備及び各コンテンツのパッケージ化（観光商品造成）事業とも連携を図りながら、総合的に「海の京都・京丹後市」の魅力を磨き、発言していくことが必要である。			
事業所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	12海の京都推進事業
細事業名	02 ザカ-推進事業			決算書 P.268
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
17,043千円	17,420千円	377千円	97.8 %	20,990千円
目的	山陰海岸ジオパークの教育・学習活動への活用や普及啓発を行うことにより、ジオツーリズム等ジオパーク活動を通じた地域活性化を図る。			
主要な 事業 及び 成果 の 概要	【京丹後市ジオパークネットワーク推進会】 27千円 ○京丹後市ジオパークネットワーク推進会委員謝金及び費用弁償 27千円 【拠点施設・ジオサイト等整備】 7,503千円 ○拠点施設の運営管理（道の駅てんきてんき丹後内） 3,912千円 ○草刈等ジオサイトの保護安全管理 1,205千円 ○モデルコース等案内看板設置（マリンコース3コース等） 2,386千円 【山陰海岸ジオパーク普及啓発等】 6,856千円 ○ジオパーク宝探しイベント（抽選応募枚数1,325枚） 5,080千円 ○ジオトレッキング（1回・27人参加） 30千円 ○オープンカレッジ丹後学開催・ガイド交流会参加 93千円 ○小学校理科体験授業「大地の学習」（市内20校実施） 64千円 ○写真コンクール入賞作品展示 16千円 ○普及啓発PR活動（現地ガイド・市外でのPR活動） 81千円 ○普及啓発用消耗品費等 438千円 ○パンフレット・マップ等印刷 298千円 ○新聞、旅行情報誌等広告料 691千円 ○世界ジオパークネットワークへ加盟再認定祝賀会会場設営 65千円 再認定日：平成26年9月23日（火） 【負担金】 2,657千円 ○山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金 2,657千円			
主な 財源	府補 山陰海岸世界ジオパーク推進事業補助金 3,000千円 繰入金 地域振興基金繰入金 5,000千円			
評価・ 課題等	○拠点施設において、市民及び観光客への充実した情報と学習機会の提供ができた。 ○宝探しイベント実施により、楽しく周遊しながら本市の魅力を体感する機会の提供ができた。 ○保護保全活動をはじめとするジオパーク活動の推進により、世界ジオパークネットワークへの加盟再認定を受けることができた。			
事業所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	12海の京都推進事業
細事業名	03 日本一の砂浜海岸づくり推進事業			決算書 P.268
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
74,745千円	180,390千円	105,645千円	41.4 %	18,115千円
目的	年間を通じて賑わう日本一の砂浜海岸づくりのため、美しい砂浜海岸を保全するとともに、ビーチスポーツ等の活用を推進し、交流人口の増加と本市の活性化を図る。			
主要な 事業 及び 成果 の 概要	○日本一の砂浜海岸づくり実行推進会議 191 千円 旅費、有料道路通行料等 191 千円 ○小天桥海岸から浜詰海岸遊歩道整備 64,122 千円 植生調査委託 1,987 千円 遊歩道堆積砂除去工事 1,264 千円 遊歩道測量設計委託（小天桥から箱石） 6,281 千円 遊歩道整備工事（小天桥から箱石） 54,590 千円 ○砂浜海岸の保全事業 5,803 千円 ビーチ斉クリーン作戦 610 千円 開催日：6月22日（日） 参加者数：約300人 海水浴場清掃美化業務委託 1,937 千円 海岸清掃重機借上 2,357 千円 流木撤去工事（葛野） 899 千円 ○砂浜海岸の活用事業 4,579 千円 第1回サンセットビーチランin京丹後 2,787 千円 開催日：6月28日（土） 参加者数：約350人 ビーチのにぎわい創出事業委託料 972 千円 日本の美しい白砂海岸調査業務委託料 297 千円 アジアビーチゲームズ視察 523 千円 視察日：平成26年11月13日～11月17日 視察場所：タイ王国・プーケット 視察人数：2人 ○（一社）ウォーターフロント協会会費 【担当：観光振興課】 50 千円			
主な 財源	府補 スポ-観光聖地づくり事業補助金 3,000千円 府補 未来づくり交付金（日本一の砂浜海岸づくり推進事業） 6,600千円 繰入金 ふるさと応援基金繰入金 2,650千円 市債 海岸遊歩道整備事業債（合併特例債） 55,000千円			
評価・ 課題等	○ビーチ斉クリーン作戦をはじめ市民一体となった砂浜海岸の保全活動を推進できた。 ○サンセットビーチランを初開催して全国から約350人の参加者を集め、砂浜海岸の賑わいづくりを推進できた。 ○小天桥から箱石海岸への遊歩道整備を進め、砂浜海岸活用のための環境整備を推進できた。 ○さらにビーチを活用し、賑わう浜辺づくりに取り組む必要がある。			
事業所管課	商工観光部／スポーツ観光・交流課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	12海の京都推進事業						
細事業名	04 かぶと山園地整備事業			決算書 P.268						
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額						
6,916千円	14,026千円	7,110千円	49.3 %	22,900千円						
目的	「海の京都」京丹後市マスタープランに掲げた公園整備として、かぶと山展望台への動線の整備等を行うことにより、新たな誘客に繋げ、地域の活性化を推進する。									
主要な事務・事業及び成果の概要	かぶと山山頂からの素晴らしい眺めをPRし、観光客誘致を推進するため、「海の京都」京丹後市マスタープランに基づき整備される市道拡幅に伴い、中腹に駐車場及びトイレの整備、駐車場から山頂展望台への遊歩道の整備を行う。 ○かぶと山園地駐車場実施設計業務 3,726千円 かぶと山園地中腹に整備予定の駐車場実施設計に要する経費 ○かぶと山園地遊歩道デザイン立案業務 300千円 京都工芸繊維大学との包括協定に基づき、かぶと山園地中腹の駐車場予定地から山頂展望台への遊歩道デザインの立案に要する経費 ○かぶと山園地園路整備工事 前払金分 2,890千円 かぶと山園地キャンプ場側からの登山道の改修に要する経費 総事業費：8,683,200円（残額は平成27年度繰越予算にて執行） 工事期間：平成27年2月24日から4月30日まで 〔かぶと山展望台更新に伴う山頂への動線整備〕 実施期間：平成26年度～平成28年度 進入道路の拡幅：延長約800m（土木費で計上） 駐車場（観光バス5台、普通車20台の予定）及びトイレの整備 駐車場から山頂展望台への遊歩道整備（延長約850m） ■平成27年度への繰越事業 7,110千円 <table><tr><td>参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>6,916千円</td></tr><tr><td></td><td>実質的な執行率</td><td>100.0 %</td></tr></table> ・かぶと山園地登山道整備事業 平成27年4月完成 7,110千円				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	6,916千円		実質的な執行率	100.0 %
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	6,916千円								
	実質的な執行率	100.0 %								
主な財源	市債 観光施設整備事業債（合併特例債）			3,500千円						
評価・課題等	○実施設計等を行うことにより、動線整備（駐車場及びトイレ、遊歩道）に向けた準備を整えることができた。 ○山頂展望台への動線整備については、平成23年度末の完成を目指して、計画的に工事に着手していく必要がある。									
事業所管課	商工観光部／観光振興課									

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	50観光振興一般経費
細事業名	01 観光振興一般経費			決算書 P.270
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
186千円	248千円	62千円	75.0 %	176千円
目的	各種団体への加盟に伴う負担金拠出などにより観光の振興を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○事務費 111 千円 ・普通旅費 73 千円 ・事務消耗品 11 千円 ・有料道路通行料、駐車場使用料 27 千円 ○協議会等加盟団体負担金 75 千円 ・国民保養温泉地協議会負担金 45 千円 ・近畿道の駅連絡会負担金 30 千円			
主な財源				
評価・課題等	加盟団体作成の各種パンフレット、ホームページの活用を通じて本市のPRを図るとともに、加盟団体からの情報提供により観光振興に資することができた。			
事業所管課	商工観光部／スポーツ観光・交流課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	01海浜等施設管理事業	
細 事 業 名	01 海浜等施設管理事業			決算書	P.272
総 合 計 画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
7,000千円	7,231千円		231千円	96.8 %	8,153千円
目 的	海水浴場等の観光関連施設の維持管理を行い、観光客の利便性及び快適性の向上を図るとともに、海岸地域の美化に努める。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	海水浴場等のトイレ、休憩所等の清掃、修繕等の維持管理を行い、訪れる観光客に清潔で快適な観光施設を提供した。また、海岸漂着ごみの撤去を行った。 ○需用費 消耗品費（トイレトーパー、土嚢袋等） 67 千円 光熱水費（電気料金、上下水道料金） 1,962 千円 修繕料（シャワー、トイレドア修繕等） 710 千円 ○役務費 し尿汲み取り手数料 999 千円 給水開閉手数料 7 千円 保険料 67 千円 ○委託料 施設維持管理委託料 411 千円 トイレ清掃委託料 74 千円 浄化槽維持管理委託料 607 千円 海水浴場清掃美化委託料 1,631 千円 施設清掃委託料 302 千円 ○使用料及び賃借料 土地借上料 163 千円				
主 な 財 源					
評 価 ・ 課 題 等	施設の維持・修繕を行うとともに、海岸漂着ごみの撤去を行い、観光客に良好で快適な環境を提供することが出来た。				
事 業 所 管 課	商工観光部／スポーツ観光・交流課				

予 算 科 目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	02自然公園管理事業	
細 事 業 名	01 自然公園管理事業				決算書 P.272
総 合 計 画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
13,372千円	13,415千円		43千円	99.6 %	13,145千円
目 的	市内の国立公園及び国定公園区域内にある京都府の公園施設等の適正な維持管理を行い、自然公園の環境保全及び活用を促進する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園にある京都府の公園施設（京都府からの管理委託業務を地元区等に再委託）について適正な維持管理を行った。 ○消耗品費、光熱水費 2,270千円 ○修繕料（丹後松島園地トイレ修理等） 815千円 ○手数料（し尿汲取手数料） 1,642千円 ○自然公園等施設管理委託料（15園地） 6,220千円 ○自然公園内ごみ収集委託料（5園地） 1,484千円 ○トイレ清掃・水道施設管理委託料・バイオトイレ維持管理委託料 744千円 ○賃借料（土地借上料） 160千円 ○原材料費 20千円 ○自然公園保護協会負担金 15千円 ○職員旅費 2千円				
主 な 財 源	府委	国立公園・国定公園管理委託金			8,705千円
評 価 ・ 課 題 等	公園施設等の維持管理が適切に行われ、観光客に良好で快適な環境を提供することができた。				
事 業 所 管 課	商工観光部／観光振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業	
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.272	
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
109,470千円	109,915千円	445千円	99.5 %	105,687千円	
目的	指定管理者へ施設の運営管理を委託し、民間事業者のノウハウを活用した適切な施設運営と維持管理を行う。				
主要な 業務・ 事業 及び 成果 の 概要	観光関連31施設（15グループ）の管理運営を指定管理者へ委託することで、適切な維持管理と施設の利用促進を図った。				
	○指定管理委託料（87,029千円）及び利用状況				
	施設名	指定管理料 (千円)	利用状況(人)		
			H26年度	H25年度	前年比
	天女の里	9,834	22,119	24,814	89.1%
	小町公園	3,466	4,184	3,740	111.9%
	浅茂川温泉静の里	21,306	126,492	141,796	89.2%
	道の駅てんきてんき丹後	0	120,884	131,022	92.3%
	丹後温泉はしうど荘	1,800	30,241	44,939	67.3%
	碓高原ステーキハウス	0	8,270	9,081	91.1%
	宇川温泉よし野の里	3,382	99,575	97,938	101.7%
	高嶋園地	50	11,700	9,824	119.1%
	森林公園スイス村	36,305	15,815	15,257	103.7%
	弥栄あしぎぬ温泉	1,260	114,610	115,635	99.1%
	風蘭の館	928	2,306	2,307	100.0%
奥山自然たいけん公園	820	2,589	2,674	96.8%	
久美浜豪商稲葉本家	5,555	23,960	23,959	100.0%	
かぶと山公園	1,694	4,216	4,270	98.7%	
丹後自然体験学習関連施設	629	178	285	62.5%	
計	87,029	587,139	627,541	93.6%	
○その他（22,441千円）					
水道水質検査委託料	1,104	保険料（火災・自動車損害）	1,530		
はしうど荘損失補償	4,177	土地借上料（施設用地）	1,411		
受変電設備保守管理委託料	181	あしぎぬ温泉電気代	12,314		
施設清掃委託料	18	特殊建築物等報告業務委託料	1,706		
主な 財源	諸収入	水質検査料一部負担金	89千円		
	諸収入	弥栄あしぎぬ温泉電気代等負担金	12,495千円		
評価・ 課題等	指定管理者による適切な運営管理により、利用者に良好で快適な施設環境を提供することができた。				
事業所管課	商工観光部／スポーツ観光・交流課				

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業
細事業名	02 指定管理施設大規模改修事業			決算書 P.272
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目 ⑤ 観光の振興	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
303,402千円	303,406千円	4千円	99.9 %	272,790千円
目的	計画的に施設の修繕・改修を実施することで、適切な維持管理を進める。			
主要な 業務・ 事業 及び 成果 の 概要	観光関連の指定管理施設について必要な改修・修繕を実施し、施設利用者の安全性の確保と利便性・快適性を維持する。また、市内森林整備を促進するため、公共温泉施設である宇川温泉よし野の里・弥栄あしぎぬ温泉に木質ボイラーを導入した。 ○需用費（修繕料） 14,733 千円 スイス村リフトオーバーホール、圧雪車等修繕 8,487 千円 あしぎぬ温泉放送設備、エアコン、ポンプ等修繕 1,021 千円 はしうど荘サウナ、ポンプ、エアコン等修繕 968 千円 奥山自然たいけん公園エアコン、バンガロー修繕 726 千円 よし野の里ウッドデッキ、オイルタンク液面計等修繕 1,004 千円 碓高原ステーキハウスエアコン、床材等修繕 1,128 千円 静の里浄化槽配電盤、温泉プールファン修繕 1,008 千円 道の駅てんきてんき丹後非常用ドア等改修 391 千円 ○委託料 1,568 千円 よし野の里エアコン改修工事設計委託 346 千円 静の里空調設備改修工事設計業務委託 455 千円 あしぎぬ温泉外湯湯囲い垣改修工事設計・工事監理業務委託 302 千円 奥山自然たいけん公園施設改修工事設計・工事監理業務委託 465 千円 ○工事請負費 27,868 千円 あしぎぬ温泉外湯湯囲い垣改修工事 4,806 千円 あしぎぬ温泉機械設備改修工事 1,080 千円 奥山自然たいけん公園施設改修工事 5,176 千円 よし野の里給湯ポンプ改修工事 346 千円 よし野の里エアコン改修工事費 3,445 千円 よし野の里エアコン修理工事費 4,968 千円 丹後網野温泉源ポンプ取替工事 1,188 千円 静の里空調設備改修工事費 6,859 千円			
事業所管課	商工観光部／スポーツ観光・交流課			

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業
細事業名	02 指定管理施設大規模改修事業			決算書 P.272
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
303,402千円	303,406千円	4千円	99.9 %	272,790千円
主要な事務・事業及び成果の概要	○備品購入費 15,365 千円 碓高原ステッキハウス冷蔵庫購入 199 千円 かぶと山公園自走式草刈機購入 329 千円 天女の里交流施設キャンプテント購入 314 千円 道の駅てんきてんき丹後冷蔵庫購入 199 千円 よし野の里 委託管理システム/売店POSターミナル購入 4,496 千円 スイス村スキー場圧雪車購入 9,396 千円 あしぎぬ温泉全自動製氷機購入 432 千円 木質バイオマスボイラー工事 【担当：農林整備課】 243,868 千円 積極的な市内産木材の利用を図り、市内森林整備を促進するため、公共温泉施設である宇川温泉よし野の里・弥栄あしぎぬ温泉に木質ボイラーを導入する。 ○ 需用費 設置広報看板等 421 千円 ○ 役務費 建築確認手数料 158 千円 ○ 委託料 発注支援業務委託料 5,130 千円 ○ 工事請負費 宇川温泉よし野の里 116,975 千円 弥栄あしぎぬ温泉 121,184 千円			
主な財源	府補	未来づくり交付金（指定管理施設大規模改修事業）	6,800千円	
	府補	温室効果が吸収源対策森林整備事業費補助金（1/2）	90,000千円	
	繰入金	地域の元気づくり基金繰入金	20,000千円	
	諸収入	市有建物損害共済金	75千円	
評価・課題等	市債	温泉施設整備事業債（合併特例債）	145,700千円	
	○指定管理施設において必要な修繕を行い、適切な維持管理に努めた。 ○木質バイオマスボイラーを導入することで、市内産木材の利用促進を図るなど循環型社会の構築に向け地域資源の有効活用が図れた。			
事業所管課		商工観光部／スポーツ観光・交流課		

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業
細事業名	02 指定管理施設大規模改修事業（繰越）			決算書 P.274
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
124,057千円	138,814千円	14,757千円	89.3 %	138,814千円
目的 主要な事務・事業及び成果の概要	計画的に施設の修繕・改修を実施することで、適切な維持管理を進める。			
	指定管理施設である、はしうど荘のアスベスト除去工事をはじめ、必要な改修・修繕を実施し、施設利用者の安全性の確保と利便性・快適性を維持するとともに、市内森林整備を促進するため、公共温泉施設である浅茂川温泉静の里に木質ボイラーを導入した。 ○委託料 1,198 千円 はしうど荘改修工事工事監理業務委託 1,134 千円 はしうど荘荷物運搬作業委託料 64 千円 ○工事請負費 40,654 千円 はしうど荘改修工事 34,012 千円 よし野の里落雷によるコンビオープン改修工事 1,069 千円 よし野の里落雷による復旧工事 3,205 千円 よし野の里落雷によるカーゲートシステム改修工事 1,728 千円 静の里防火扉改修工事 640 千円 木質バイオマスボイラー導入工事 【担当：農林整備課】 82,205 千円 積極的な市内産木材の利用を図り、市内森林整備を促進するため、公共温泉施設である浅茂川温泉静の里に木質ボイラーを導入する。 ○需用費 設置広報看板等 219 千円 ○委託料 発注支援業務委託料 2,452 千円 ○工事請負費 浅茂川温泉静の里木質バイオマスボイラー導入工事 79,534 千円			
主な財源	府補	温室効果が吸収源対策森林整備事業費補助金（1/2）	46,061千円	
	市債	温泉施設整備事業債（合併特例債）	37,800千円	
	市債	石綿対策事業債（一般事業債）	19,000千円	
評価・課題等	○指定管理施設において必要な修繕を行い、適切な維持管理に努めた。 ○木質バイオマスボイラーを導入することで、市内産木材の利用促進を図るなど循環型社会の構築に向け地域資源の有効活用が図れた。			
事業所管課		商工観光部／スポーツ観光・交流課		

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	50観光等施設一般経費															
細事業名	01 観光等施設一般経費				決算書	P.274													
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	⑤ 観光の振興															
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額															
14,317千円	14,584千円	267千円	98.1 %	13,032千円															
目的	観光等施設の適切な維持管理により、観光客等の利用促進及び憩いの場としての環境づくりを推進する。																		
主要な事務・事業及び成果の概要	観光等施設（41施設）において、清掃や草刈りを行うなど適切な維持管理に努め、観光客や市民の憩いの場、安らぎの場となる環境づくりを推進した。																		
	○ 施設管理用消耗品・燃料費 273 千円																		
	○ 光熱水費（トイレ等電気料、上下水道使用料ほか） 2,129 千円																		
	○ 修繕料 1,222 千円																		
	（静の杜排水再利用処理施設漏水修繕、小町温泉源貯湯槽制御機能修繕ほか）																		
	○ 通信運搬費（離湖公園電話料） 73 千円																		
	○ 手数料（し尿汲取手数料ほか） 394 千円																		
	○ 保険料（建物火災保険・自動車損害保険） 143 千円																		
	○ 施設管理委託料（清掃、草刈、水質検査、機械警備ほか） 8,513 千円																		
	<table><tr><td>地域名</td><td>施設名</td></tr><tr><td>峰山地域</td><td>羽衣茶屋、泉の爽香苑、薬師ヶ丘さくらの森公園など</td></tr><tr><td>大宮地域</td><td>平地地藏公園、ブナハウス内山など</td></tr><tr><td>網野地域</td><td>子午線塔、静の杜など</td></tr><tr><td>丹後地域</td><td>経ヶ岬・碓高原水道施設、碓高原畜産展示資料館など</td></tr><tr><td>弥栄地域</td><td>細川ガラシャ夫人の碑周辺、圧雪業務など</td></tr><tr><td>久美浜地域</td><td>東山公園、城山公園、山内施設、ドラゴン館-艇庫など</td></tr></table>						地域名	施設名	峰山地域	羽衣茶屋、泉の爽香苑、薬師ヶ丘さくらの森公園など	大宮地域	平地地藏公園、ブナハウス内山など	網野地域	子午線塔、静の杜など	丹後地域	経ヶ岬・碓高原水道施設、碓高原畜産展示資料館など	弥栄地域	細川ガラシャ夫人の碑周辺、圧雪業務など	久美浜地域
地域名	施設名																		
峰山地域	羽衣茶屋、泉の爽香苑、薬師ヶ丘さくらの森公園など																		
大宮地域	平地地藏公園、ブナハウス内山など																		
網野地域	子午線塔、静の杜など																		
丹後地域	経ヶ岬・碓高原水道施設、碓高原畜産展示資料館など																		
弥栄地域	細川ガラシャ夫人の碑周辺、圧雪業務など																		
久美浜地域	東山公園、城山公園、山内施設、ドラゴン館-艇庫など																		
主な財源	○ 圧雪業務委託料（伊根町：風力発電施設） 662 千円																		
	○ 不動産鑑定委託料（せせらぎ） 325 千円																		
	○ 土地借上料 442 千円																		
	（ブナハウス内山用地、網野駅観光車両待避所用地ほか6か所）																		
	○ 負担金（小町温泉温泉スタンド電気料負担金） 141 千円																		
主な財源	府委	碓高原畜産展示資料館管理委託料（10/10）				1,057千円													
	諸収入	丹後温泉電力料				191千円													
	諸収入	圧雪業務委託金				662千円													
	諸収入	丹後温泉源泉管理負担金				194千円													
評価・課題等	清掃、修繕等の維持管理を適切に行い、利用者に良好で快適な施設環境を提供できた。																		
事業所管課		商工観光部／スポーツ観光・交流課																	

予 算 科 目	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	03地籍調査事業			
細 事 業 名	01 地籍調査事業					決算書	P.278
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	① 適正な土地利用の推進		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額		
5,878千円	5,947千円		69千円	98.8 %	6,826千円		
目 的	国土調査法による地籍調査を行い、適正な土地利用の推進を図る。						
主要な事務・事業及び成果の概要	山陰近畿自動車道の早期整備促進に係る土地利用を図るため、大宮町森本地区で測量基準点の設置及び土地所有者の調査を行った。 ○嘱託職員報酬、共済費、費用弁償(1人分) 2,411千円 ○旅費 56千円 専門課程国土調査職員研修費1人分(5/19~23) 49千円 地籍調査説明会及び担当者会議 7千円 ○地籍調査支援システム保守業務委託料、システム使用料 319千円 ○地籍調査パソコン等購入(1台)、設置業務委託料 432千円 ○地籍調査業務委託料 2,614千円 地籍図根三角点測量 隣接地調査、調査素図作成 ○地籍調査事務費等 46千円						
主 な 財 源	府補 地籍調査事業補助金(3/4)					4,401千円	
評価・課題等	○実施地区内の基礎的な測量及び土地・地権者等の整理ができた。 ○事業の効率化を図るため、地元区に事業の必要性を理解してもらい、協力体制を築く必要がある。						
事業所管課		建設部/管理課					

予 算 科 目	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	50土木総務一般経費
細 事 業 名	01 土木総務一般経費			決算書 P.278
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	② 道路ネットワークの整備
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
15,745千円	26,562千円	10,817千円	59.2 %	21,321千円
目的	土木行政を行う上で必要となる一般的な事務事業の実施並びに市道管理に必要な道路台帳の補正、未登記用地の整理を行い、土木関係事業の円滑な推進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	土木事業を円滑に行うために必要な経費を支出し、適正かつ効率的な事業を実施した。			
	○ 土木一般管理事務費	537千円		
	普通旅費、事務消耗品、有料道路通行料等			
	○ 公用車維持管理費 (7台)	739千円		
	○ 公用車購入 (軽自動車1台)	1,068千円		
	○ 道路用地登記業務委託料等 (12件)	7,657千円		
	○ 道路台帳システム保守点検委託料	540千円		
	○ 道路台帳補正業務委託料	4,575千円		
	○ 道路関係各種協会、協議会等負担金 (5団体)	294千円		
	○ 市道事故損害賠償金 (1件)	31千円		
○ 管理課業務労働者派遣委託料 (2か月)	304千円			
参考	繰越明許費を除いた最終予算額		15,971千円	
	実質的な予算執行率		98.5%	
■平成27年度への繰越事業 (未登記整理業務)	10,591千円			
・市道三宅1号線 (丹後町三宅)	平成27年5月完成	315千円		
・市道宮ノ下船岡線 (弥栄町芋野)	平成27年9月末完成予定	3,824千円		
・市道湊宮松原線 (久美浜町湊宮)	平成27年10月末完成予定	3,790千円		
・市道中溝永長線 (峰山町新町)	平成28年3月末完成予定	2,662千円		
主な財源	手数料	屋外広告物許可手数料	347千円	
	手数料	境界確定調査事務手数料	17千円	
	諸収入	総合賠償補償保険金	32千円	
	諸収入	市有自動車損害共済金	22千円	
評価・課題等	市道管理に必要な道路台帳システムの更新、道路用地の未登記物件の処理等を行い、土木関係事業を円滑に推進することができた。			
事業所管課	建設部/管理課			

予 算 科 目	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	50土木総務一般経費
細 事 業 名	01 土木総務一般経費 (繰越)			決算書 P.280
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	② 道路ネットワークの整備
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
4,520千円	6,044千円	1,524千円	74.7 %	6,044千円
目的	市道等の分筆登記が未整備のため、調査測量、分筆登記の処理を行い、道路事業の円滑な推進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	分筆登記が未処理であった市道木橋幹道線、市道長岡敷谷線、市道大坪1号線について、地権者の調査などを行い分筆登記を行った。 ○ 市道木橋幹道線未登記敷地整理業務 (弥栄町木橋) 用地調査・登記申請業務 2,051千円 ○ 市道長岡敷谷線未登記敷地整理業務 (峰山町長岡) 用地調査・登記申請業務 715千円 ○ 市道大坪1号線未登記敷地整理業務 (峰山町荒山) 用地調査・登記申請業務 1,754千円			
主な財源				
評価・課題等	市道の適正な財産管理が図れた。			
事業所管課	建設部/管理課			

予 算 科 目		08土木費		02道路橋梁費		02道路橋梁維持費		01道路橋梁維持補修事業	
細 事 業 名		01 市道環境整備事業						決算書	P.280
総 合 計 画		基本方針 VI うるおい安全都市		計画項目		② 道路ネットワークの整備			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額	
43,399千円		44,757千円		1,358千円		96.9 %		46,897千円	
目 的		市道の草刈り及び道路施設等の維持補修を行い、地域の生活道路の環境整備や事故防止を図る。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	道路パトロール作業員による安全点検や危険箇所に対する緊急措置を行うとともに、通行の安全管理のため、道路の草刈りや交通安全施設等の補修を行った。								
	○ 市道草刈委託料							19,675千円	
		峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	
	業者委託路線数	6	9	8	10	7	8	48	
	地区委託路線数	3	0	9	5	1	4	22	
	○ 市道環境整備工事							7,432千円	
	転落防止柵、ガードレール、カーブミラー、区画線等								
	○ 市道環境整備修繕							5,737千円	
	里道修繕（丹後町袖志）							300千円	
	左坂隧道・間人小間橋照明修繕							238千円	
	交通安全施設修繕（峰山町菅ほか5か所）							851千円	
	カーブミラー修繕（大宮町谷内ほか16か所）							2,675千円	
	市道橋欄干・防護柵修繕（峰山町五箇ほか4か所）							919千円	
	地域協働型小規模公共事業（市民局施工分7か所）							754千円	
	○ 左坂隧道、間人小間橋、甲山市道排水ポンプ電気代							464千円	
○ カーブミラー鏡体（9面）及び取付金具							545千円		
○ 道路パトロール経費							9,546千円		
道路パトロール作業員共済費・賃金							7,486千円		
作業用消耗品、修繕料、燃料費、保険料等							1,829千円		
草刈機3台、転圧機1台等備品購入							231千円		
主 な 財 源									
評 価 ・ 課 題 等		○市道における交通安全施設の損壊や危険箇所について、維持補修や草刈作業を行い事故防止の徹底を図った。 ○道路施設の老朽化が進んでいるため「市道事故0」を目指しパトロール強化を行う必要がある。							
事 業 所 管 課		建設部／管理課							

予 算 科 目		08土木費		02道路橋梁費		02道路橋梁維持費		01道路橋梁維持補修事業		
細 事 業 名		02 市道維持補修事業							決算書	P.280
総 合 計 画		基本方針 VI うるおい安全都市			計画項目		② 道路ネットワークの整備			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額		
80,243千円		82,260千円		2,017千円		97.5 %		80,500千円		
目 的		老朽化、経年損耗等によって通行に支障が生じている道路、橋梁施設の維持補修を行い、市道における災害、事故等の発生を未然に防止する。								
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	市道維持補修事業として、修繕料、機械借上、原材料により道路の修繕を行った。また、市道橋梁の維持のため14か所で工事請負による維持工事を実施した。									
	○修繕料		市道間人西線溝蓋修繕工事ほか113か所						21,520千円	
	○補償費		市道小坂オベソ線仮橋借地料						49千円	
	○機械借上料・原材料費								15,003千円	
	区 分		峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	管理課分	合計
	機械借上料	件数	25	2	10	3	7	24	3	74
		金額	366	98	179	320	564	540	95	2,162
	原材料費	件数	42	13	21	6	8	63	73	226
		金額	2,498	714	1,518	309	563	5,097	2,142	12,841
	合 計	件数	67	15	31	9	15	87	76	300
金額		2,864	812	1,697	629	1,127	5,637	2,237	15,003	
○市道維持工事								43,671千円		
区 分		峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計		
工事請負費	件数	2	4	1	2	2	3	14		
	金額	2,732	4,255	3,735	5,165	5,635	22,148	43,671		
参 考		繰越明許費を除いた最終予算額						81,360千円		
		実質的な予算執行率						98.6 %		
■平成27年度への繰越事業								900千円		
・河原線（弥栄町等楽寺）		平成27年6月完成						900千円		
主 な 財 源	繰入金	地域振興基金繰入金						20,000千円		
	繰入金	地域の元気づくり基金繰入金						43,000千円		
評 価 ・ 課 題 等	老朽化及び経年損耗等により通行に支障が生じている道路、橋梁施設を補修することにより、安全・安心な通行の確保が図れた。									
	事 業 所 管 課		建設部／土木課							

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	01道路新設改良事業	
細 事 業 名	01 道路新設改良事業			決算書 P.282	
総 合 計 画	基本方針 VI うるおい安全都市	計画項目	② 道路ネットワークの整備		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
57,830千円	75,281千円	17,451千円	76.8 %	82,204千円	
目的	道路施設の新設改良工事を行い、交通の円滑化と災害、事故等の発生を未然に防止する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	道路新設改良事業として、10路線の拡幅、側溝、舗装の整備を実施した。				
	○事業費 57,830千円				
	路線名	委託料	工事請負費	事務費	計
	杉ノ木線(峰山町杉谷)		537		537
	辻蓼原線(峰山町荒山)		1,479		1,479
	角地栄町線(峰山町丹波)		9,282		9,282
	小浜掛津線(網野町小浜)		7,019		7,019
	筆石此代線(丹後町此代)		3,445		3,445
	西本町河梨線(久美浜町新町)	2,365	12,864		15,229
	網野下岡線(網野町網野)		11,194		11,194
空地線(弥栄町堤)		5,467		5,467	
河口高校グラウンド線(網野町小浜)	799			799	
福田線(網野町網野)	2,381			2,381	
事務費			998	998	
合計	5,545	51,287	998	57,830	
	参 考	繰越明許費を除いた最終予算額		57,948千円	
		実質的な予算執行率		99.7 %	
	■平成27年度への繰越事業			17,333千円	
	・中八反畑線(大宮町河辺)	平成27年8月完成	3,000千円		
	・中河原線(大宮町口大野)	平成27年12月完成予定	9,633千円		
	・余儿部線(大宮町善王寺)	平成27年8月完成	3,200千円		
	・穴ノ谷口線(弥栄町溝谷)	平成27年5月完成	1,500千円		
主な財源	分担金	道路舗装事業費分担金	147千円		
	国補	がんばる地域交付金	13,838千円		
	市債	道路改良事業債(合併特例債)	41,000千円		
評価・課題等	道路施設の新設改良工事を実施することにより、安全・安心な通行の確保が図れた。				
事業所管課	建設部/土木課				

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	01道路新設改良事業																			
細 事 業 名	01 道路新設改良事業（繰越）				決算書	P.282																	
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	② 道路ネットワークの整備																			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額																			
22,028千円	23,000千円	972千円	95.7 %	23,000千円																			
目的	道路施設の新設改良工事を行い、交通の円滑化と災害、事故等の発生を未然に防止する。																						
主要な事務・事業及び成果の概要	平成25年度から繰越した2路線について事業を実施した。																						
	○事業費 22,028千円																						
	<table><tr><th rowspan="2">路線名 \ 工種</th><th colspan="2">工事請負費</th><th rowspan="2">計</th></tr><tr><th>道路改良</th><th>交通安全施設</th></tr><tr><td>上線(網野町三津)</td><td>4,396</td><td>0</td><td>4,396</td></tr><tr><td>鴨池線(峰山町長岡)</td><td>14,020</td><td>3,612</td><td>17,632</td></tr><tr><td>合 計</td><td>18,416</td><td>3,612</td><td>22,028</td></tr></table>					路線名 \ 工種	工事請負費		計	道路改良	交通安全施設	上線(網野町三津)	4,396	0	4,396	鴨池線(峰山町長岡)	14,020	3,612	17,632	合 計	18,416	3,612	22,028
	路線名 \ 工種	工事請負費		計																			
		道路改良	交通安全施設																				
上線(網野町三津)	4,396	0	4,396																				
鴨池線(峰山町長岡)	14,020	3,612	17,632																				
合 計	18,416	3,612	22,028																				
主な財源	市債 道路改良事業債（合併特例債）					17,400千円																	
評価・課題等																							
	道路施設の新設改良工事を実施することにより、安全・安心な通行の確保が図れた。																						
事業所管課		建設部／土木課																					

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	03過疎対策道路整備事業
細 事 業 名	01 過疎対策道路整備事業			決算書 P.282
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	② 道路ネットワークの整備
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
24,983千円	44,285千円	19,302千円	56.4 %	59,476千円
目 的	道路施設の新設改良工事を行い、交通の円滑化と災害、事故等の発生を未然に防止する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	過疎対策道路事業として、永留一分線の改良工事、電柱移設補償を実施した。			
	○永留一分線（久美浜町永留）			
	・ 工事請負費			21,389千円
	・ 物件移転補償費			3,419千円
	・ 事務費			175千円
	参 考	繰越明許費を除いた最終予算額	24,985千円	
		実質的な予算執行率	99.9 %	
	■平成27年度への繰越事業			19,300千円
	・ 甲山兜山線（久美浜町甲山）平成27年12月完成予定			19,300千円
主 な 財 源	市債	道路改良事業債（過疎対策債）		24,800千円
評 価 ・ 課 題 等	通行に支障が生じている道路施設の改修のため改良事業を実施することにより、安全・安心な通行の確保が図れた。			
事 業 所 管 課	建設部／土木課			

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	03過疎対策道路整備事業
細 事 業 名	01 過疎対策道路整備事業（繰越）			決算書 P.282
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	② 道路ネットワークの整備
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
1,581千円		1,777千円	196千円	88.9 %
				(参考) 当初予算額 1,777千円
目 的	道路施設の新設改良工事を行い、交通の円滑化と災害、事故等の発生を未然に防止する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	平成25年度から繰越した永留一分線について事業を実施した。			
	○永留一分線（久美浜町永留）		1,581千円	
	・道路用地購入費（50.22㎡）		300千円	
	・物件移転補償費（建物及び立木）		1,281千円	
主 な 財 源	市債 道路改良事業債（過疎対策債）			1,500千円
評 価 ・ 課 題 等	通行に支障が生じている道路施設の改修のため改良事業を実施することにより、安全・安心な通行の確保が図れた。			
事 業 所 管 課		建設部／土木課		

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	04社会資本整備総合交付金事業
細事業名	01 社会資本整備総合交付金事業			決算書 P.282
総合計画	基本方針 VI うるおい安全都市	計画項目	② 道路ネットワークの整備	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
79,319千円	132,906千円	53,587千円	59.6 %	250,370千円
目的	社会資本整備総合交付金を活用して道路新設改良事業を実施することで、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興に寄与する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	社会資本整備総合交付金事業として、6路線の拡幅、側溝等の整備及び京都府河川改修工事に伴う橋梁改築負担金の支出を行った。			
	○事業費			79,319千円
	路線名	委託料	工事請負費	負担金 補償費 事務費 計
	下ノ割堂ゴヤ線(峰山町杉谷)	421		10,868 11,289
	呉服二箇前川原線(峰山町安・新治)	1,331		1,331
	郷新田岡線(網野町郷)	4,297	6,270	3,575 14,142
	中田線(網野町下岡)		29,539	29,539
	丹波島津線(弥栄町木橋)		6,338	6,338
	鹿野第一横断線(久美浜町鹿野・葛野)	1,909	7,528	3,807 13,244
	事務費等	1,080		2,356 3,436
	合計	9,038	12,608	37,067 18,250 2,356 79,319
	参 考	繰越明許費を除いた最終予算額		79,536千円
		実質的な予算執行率		99.7 %
	■平成27年度への繰越事業			53,370千円
	・五反田苗代線(苗代橋)(網野町網野) 平成27年9月完成予定			5,964千円
	・呉服二箇前川原線(峰山町安・新治) 平成27年12月完成予定			19,547千円
	・郷新田岡線(網野町郷) 平成27年7月完成			7,082千円
	・鹿野第一横断線(久美浜町鹿野・葛野) 平成27年11月完成予定			20,777千円
主な財源	国補	社会資本整備総合交付金(6/10)		40,270千円
	市債	市有自動車損害共済金		54千円
	市債	道路改良事業債(合併特例債)		27,300千円
	市債	道路改良事業債(過疎対策債)		6,300千円
評価・課題等	○道路施設の新設改良工事を社会資本整備総合交付金を活用し実施することにより、安全・安心なまちづくり、観光と産業の振興に資することができた。			
	○今後も交付金を活用した事業を実施し、生活の利便性向上と安全・安心で快適な道づくりを推進していく必要がある。			
事業所管課		建設部/土木課		

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	04社会資本整備総合交付金事業
細事業名	01 社会資本整備総合交付金事業（繰越）			決算書 P.284
総合計画	基本方針 VI うるおい安全都市	計画項目	② 道路ネットワークの整備	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
148,365千円	148,725千円	360千円	99.7 %	147,853千円
目的	社会資本整備総合交付金を活用して道路新設改良事業を実施することで、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興に寄与する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	平成25年度から繰越した7路線について道路拡幅、舗装等の整備、用地購入、登記委託のほか京都府河川改修工事に伴う橋梁改築負担金を支出した。			
	○事業費			148,365千円
	路 線 名	委託料	工事請負費	負担金 補償費 計
	下ノ割堂ゴヤ線(峰山町杉谷)			864 864
	岡沢森本線(大宮町森本)		17,129	17,129
	郷新田岡線(網野町郷)		29,909	29,909
	五反田東トン田線(苗代橋)(網野町網野)		23,497	23,497
	丹波島津線(弥栄町木橋)	613	13,679	14,292
	朽谷口馬地線(久美浜町三谷、口馬地)	1,987	27,475	6,739 36,201
	鹿野第一横断線(橋ノ坪橋)(久美浜町鹿野、葛野)	5,300		21,173 26,473
	合 計	7,900	88,192	44,670 7,603 148,365
主な財源	国補	社会資本整備総合交付金(6/10)		86,826千円
	市債	道路改良事業債(合併特例債)		32,400千円
	市債	道路改良事業債(過疎対策債)		27,100千円
評価・課題等	○道路施設の新設改良工事を社会資本整備総合交付金を活用し実施することにより、安全・安心なまちづくり、観光と産業の振興に資することができた。 ○今後も交付金を活用した事業を実施し、生活の利便性向上と安全・安心で快適な道づくりを推進していく必要がある。			
事業所管課		建設部/土木課		

予 算 科 目		08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	04社会資本整備総合交付金事業	
細 事 業 名		02 社会資本整備総合交付金事業(効果促進事業)			決算書 P.282	
総 合 計 画		基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目 ② 道路ネットワークの整備	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①	執 行 率 (参考) 当初予算額	
55,590千円		79,194千円		23,604千円	70.1 % 59,258千円	
目的 社会資本整備総合交付金を活用し、道路事業と一体となって事業を実施し、安心・安全なまちづくり、観光と産業の振興に寄与する。						
主要な 事務・事業 及び成果 の概要	社会資本整備総合交付金事業（効果促進事業）として、道路施設点検、無電柱化事業および消防車の更新整備を行った。					
	○擁壁、法面道路ストック点検業務 ・ 擁壁9か所、法面点検39か所				1,625千円	
	○無電柱化事業 【担当：観光振興課】 ・ 市道牛揚本線（網野町浜詰）美装化工事 L=201.8m				23,226千円	
	○多機能型消防自動車等整備事業 【担当：総務課】 ・ CD-1型多機能消防ポンプ自動車1台 丹後第4分団第1部 （丹後町久僧）				30,599千円 20,448千円	
	・ 多機能型小型動力ポンプ付き積載車1台 弥栄第1分団第4部 （丹後町竹野）				9,568千円	
	・ 自動車搭載AED（自動体外式除細動器）2台				583千円	
	○事務費 ・ 自動車登録手数料等役務費、自動車重量税等公課費				140千円	
	参 考				繰越明許費を除いた最終予算額 55,694千円 実質的な予算執行率 99.8 %	
	■平成27年度への繰越事業				23,500千円	
	・ 跨線橋道路ストック点検（大宮町、網野町） 平成27年6月完成				3,608千円	
	・ 舗装道路ストック点検（峰山町、大宮町、網野町） 平成27年7月完成				19,892千円	
	主な 財源	国補	社会資本整備総合交付金（6/10、5/10）			16,275千円
		国補	がんばる地域交付金			22,000千円
		市債	消防自動車整備事業債（過疎対策債）			15,200千円
	評価・課題等	○道路施設の新設改良工事を社会資本整備総合交付金を活用し実施することにより、安全・安心なまちづくり、観光と産業の振興に資することができた。 ○今後も交付金を活用した事業を実施し、生活の利便性向上と安全・安心で快適な道づくりを推進していく必要がある。				
事業所管課		建設部／土木課				

予 算 科 目		08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	04社会資本整備総合交付金事業
細 事 業 名		02 社会資本整備総合交付金事業(効果促進事業)（繰越）			決算書 P.284
総 合 計 画		基本方針 VI うるおい安全都市		計画項目 ② 道路ネットワークの整備	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額
42,490千円		47,581千円	5,091千円	89.3 %	48,453千円
目的	社会資本整備総合交付金を活用し、道路事業と一体となって事業を実施し、安心・安全なまちづくり、観光と産業振興を図る。				
主要な 事務・ 事業 及び 成果 の 概 要	平成25年度から繰り越した多目的広場の整備事業、無電柱化事業および道路舗装点検・修繕計画策定業務を行った。				
	○多目的広場整備事業				13,185千円
	・ 大宮町河辺地区多目的広場整備工事（アスファルト舗装1,910㎡ 土舗装3,680㎡）				
	○無電柱化事業 【担当：観光振興課】				25,990千円
	・ 市道牛揚本線（網野町浜詰）電線移設補償 L=200m				
	○舗装点検・修繕計画策定業務				3,315千円
	・ 路面性状調査、修繕計画 L=25 km（峰山町、大宮町、網野町）				
主 な 財 源	国補	社会資本整備総合交付金（6/10）			25,303千円
	市債	多目的広場整備事業債（合併特例債）			5,000千円
	市債	無電柱化整備事業債（合併特例債）			8,800千円
評価・課題等	○道路施設の新設改良工事を社会資本整備総合交付金を活用し実施することにより、安全・安心なまちづくり、観光と産業の振興に資することができた。 ○今後も交付金を活用した事業を実施し、生活の利便性向上と安全・安心で快適な道づくりを推進していく必要がある。				
事業所管課		建設部／土木課			

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	06橋梁長寿命化事業	
細 事 業 名	01 橋梁長寿命化事業				決算書 P.284
総 合 計 画	基本方針 VI	うるおい安全都市		計画項目 ②	道路ネットワークの整備
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
11,551千円	41,682千円	30,131千円	27.7 %	40,208千円	
目的	市道橋梁の修繕計画を作成し、計画的な修繕を行うことにより橋梁の長寿命化を図る。				
主要な 事業及び 成果の 概要	橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕設計を実施した。				
	○橋梁修繕詳細設計		11,487千円		
	・ 橋梁数：5橋 【峰山町】米田橋、【網野町】タモノ木橋、明光寺橋 【丹後町】上宇川橋、【久美浜町】市場中橋				
	○事務費		64千円		
	・ 普通旅費、研修参加負担金				
	参 考	繰越明許費を除いた最終予算額		11,696千円	
		実質的な予算執行率		98.7 %	
	■平成27年度への繰越事業		29,986千円		
	・ 橋梁点検 7橋 平成27年5月完成 2,112千円 【峰山町】三町田橋、【網野町】佐古橋、下岡橋、十王堂橋、有安橋 【久美浜町】大橋1号橋、大橋2号橋				
	・ 橋梁修繕 5橋 平成28年3月完成予定 27,874千円 【峰山町】米田橋、【網野町】タモノ木橋、明光寺橋 【丹後町】上宇川橋、【久美浜町】市場中橋				
主な財源	国補	社会資本整備総合交付金 (6/10)			6,340千円
	市債	道路改良事業債 (合併特例債)			2,900千円
	市債	道路改良事業債 (過疎対策債)			1,200千円
評価・課題等	○新基準による点検が義務付けられ、点検及び修繕に対応できる体制整備が必要である。 ○橋梁の老朽化が進行しており、計画的な修繕の実施が必要である。				
事業所管課		建設部／土木課			

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	03道路橋梁新設改良費	06橋梁長寿命化事業		
細 事 業 名	01 橋梁長寿命化事業（繰越）				決算書	P.284
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	② 道路ネットワークの整備	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
13,650千円	13,651千円		1千円	99.9 %	13,651千円	
目的	市道橋梁の修繕計画を作成し、計画的な修繕を行うことにより橋梁の長寿命化を図る。					
主要な 事務・事業 及び成果の 概要	平成25年度から繰り越した橋梁点検・修繕計画策定業務を行った。 ○橋梁点検及び橋梁長寿命化修繕計画策定 13,650千円 橋梁点検103橋、長寿命化修繕計画策定299橋					
主な 財源	国補	橋梁長寿命化修繕事業費補助金（6/10）				8,190千円
評価・ 課題等	○橋梁点検の実施により、橋梁長寿命化修繕計画の策定に必要なデータを把握し、同計画を策定することができた。 ○橋梁の老朽化が進行していることから、対症療法的な修繕ではなく橋梁長寿命化計画に基づく計画的な修繕を実施し、橋梁を適切な状態に維持するとともに、全体修繕費用の抑制に努めていく必要がある。また、5年に一度の橋梁点検が義務付けられたことから、点検及び修繕に対応できる体制整備が必要である。					
事業所管課	建設部／土木課					

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	04除雪対策費	01除雪対策事業			
細 事 業 名	01 除雪事業				決算書	P.284	
総 合 計 画	基本方針 VI うるおい安全都市			計画項目	② 道路ネットワークの整備		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
307,680千円	310,382千円		2,702千円	99.1%	161,479千円		
目 的	速やかな除雪作業を行うことで、冬季の降雪時における主要道路及び生活道路交通網を確保し、市民生活の安定を図る。						
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	除雪計画に基づき、市道及び府委託路線など関係機関と協力して積雪時に速やかな除雪作業を行った。						
	(単位：路線、km)						
	管 内	第1次路線		第2次路線		その他路線	
		路線数	除雪延長	路線数	除雪延長	路線数	除雪延長
	峰山町	33	35.21	412	86.83	66	47.37
	大宮町	24	21.60	328	70.90	91	57.02
	網野町	57	34.59	400	71.29	124	59.57
	丹後町	45	31.57	180	29.42	87	50.50
	弥栄町	45	43.35	191	38.48	82	88.54
	久美浜町	202	86.56	188	38.13	168	94.55
合 計	406	252.88	1,699	335.05	618	397.55	
	1次路線：主要な幹線道路 2次路線：1次路線以外の市道 その他路線：1・2次路線以外（駐車場・進入路等）						
	○ 除雪機械維持管理等（除雪機械整備・点検等管理・保険料等） 46,272千円 ○ 除雪作業委託（71業者・78地区） 225,458千円 ○ 除雪用機械レンタル料（37台） 35,581千円 ○ 除雪機械運転技能講習受講補助金受講者14人（1/2補助） 112千円 ○ 事務費（除雪機械格納庫光熱水費、通信費、印刷費） 257千円						
主 な 財 源	国補	社会資本整備総合交付金（2/3）					20,000千円
	府委	府道除雪作業委託金					40,509千円
	府委	歩道除雪作業委託金					1,516千円
	府委	丹後縦貫林道除雪作業委託金					785千円
	諸収入	伊根町風力発電所除雪作業委託					324千円
評 価 ・ 課 題 等	○積雪時に速やかな除雪作業が実施でき、通勤・通学をはじめ、円滑な市民生活の維持を図ることができた。 ○除雪委託業者が減少傾向にあるため除雪業者の確保に努める必要がある。						
事 業 所 管 課		建設部／管理課					

予 算 科 目		08土木費	02道路橋梁費	04除雪対策費	01除雪対策事業			
細 事 業 名		02 除雪機械整備事業				決算書	P.284	
総 合 計 画		基本方針 VI うるおい安全都市		計画項目	② 道路ネットワークの整備			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
10,696千円		10,697千円		1千円	99.9 %	9,300千円		
目 的		計画的な除雪機械の購入により除雪体制を整え、冬季における市民生活を守る。						
主要な事務・事業及び成果の概要		地域の効率的な除雪を行うため、自治会貸与用の除雪機械を購入し、冬季における除雪体制を整えた。						
		○ 自治会貸与除雪機械購入費（乗用型・3t未満（3台））				10,350千円		
		網野町仲禅寺区、丹後町三宅区、弥栄町溝谷区						
		○ 京都府除雪機械払下（H8年式、13t、2台）				346千円		
		(参考) 平成26年度の除雪機械配備状況						
		除雪機械				うち自治会貸与機械		
		市所有	借上機	レンタル	計	乗用型	歩行型	計
峰山町		9	34	6	49	3	1	4
大宮町		24	13	8	45	2	11	13
網野町		15	13	11	39	6	3	9
丹後町		26	13	3	42	14	4	18
弥栄町		17	8	4	29	4	0	4
久美浜町		52	11	5	68	13	23	41
計		143	92	37	272	47	42	89
主 な 財 源		繰入金 地域の元気づくり基金繰入金					10,300千円	
評 価 ・ 課 題 等		○積雪時の円滑な除雪を行うために除雪機械を配備し、冬季における安心安全な市民生活の維持を図ることができた。						
		○経年劣化等により老朽化する除雪機械の更新及び増強を進め、引き続き効果的な除雪体制を維持していく必要がある。						
事 業 所 管 課		建設部／管理課						

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	04除雪対策費	01除雪対策事業
細 事 業 名	02 除雪機械整備事業（繰越）			決算書 P.286
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	② 道路ネットワークの整備
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
25,888千円	30,196千円	4,308千円	85.7 %	30,196千円
目 的	計画的な除雪機械の購入により除雪体制を整え、冬季における市民生活を守る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	国の排ガス規制基準の見直しの関係から、繰越となっていた除雪機械を購入した。 ○ 除雪機械購入費（11 t 級（2台）） 25,888千円 ・ 配備予定：弥栄町溝谷地区、久美浜町佐野北地区			
主 な 財 源	市債	除雪機械等整備事業債（合併特例債）	12,500千円	
	市債	除雪機械等整備事業債（過疎対策債）	12,300千円	
評 価 ・ 課 題 等	経年劣化等により老朽化する除雪機械の更新及び増強を進め、引き続き効果的な除雪体制を維持していく必要がある。			
事 業 所 管 課		建設部／管理課		

予 算 科 目	08土木費	03河川費	01河川総務費	01急傾斜地崩壊対策事業	
細 事 業 名	01 急傾斜地崩壊対策事業				決算書 P.286
総 合 計 画	基本方針 VI うるおい安全都市		計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
2,032千円	2,032千円	0千円	100.0 %	2,500千円	
目 的	急傾斜地崩壊対策事業を推進し、住宅地背後の急峻な崖地の崩壊の危険を解消することとて、災害から市民の命を守る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	事業主体である京都府の計画に沿って、丹後町間人谷地区の急傾斜地崩壊対策事業を実施した。				
	○ 急傾斜地崩壊対策事業負担金				1,994千円
	京都府負担金：1地区分				
	事業費39,837千円×市負担率（5/100）				
	(実施事業等) (単位：千円)				
	事業名	箇所名	事業費	市負担額	うち地元分担金
	急傾斜地崩壊対策事業	丹後町間人谷	39,837	1,994	874
	○ 受益者分担金過年度清算金				38千円
	平成23年度事業分（五箇地区）				
主 な 財 源	分担金	急傾斜地崩壊対策事業分担金			874千円
評 価 ・ 課 題 等	住宅地背後の急峻で危険な崖地のある急傾斜地において、急傾斜地崩壊対策事業を実施したことによって、急傾斜地の崩壊による災害の防止が図れた。				
事 業 所 管 課		建設部／管理課			

予算科目	08土木費	03河川費	01河川総務費	50河川総務一般経費		
細事業名	01 河川総務一般経費				決算書	P.286
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	③ 河川・海岸・港湾の整備	
決算額 ①	最終予算額 ②		不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
161千円	183千円		22千円	87.9%	183千円	
目的	河川事業の円滑な実施を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	河川事業に必要な協会への加入負担金を支出した。 ○ 協会負担金 161千円 京都府砂防・治水・防災協会費					
主な財源						
評価・課題等	適切な事務の執行により、河川事業を実施することができた。					
事業所管課	建設部／管理課					

予算科目	08土木費	03河川費	02河川維持費	01河川維持管理事業				
細事業名	01 河川環境整備事業				決算書	P.286		
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	③ 河川・海岸・港湾の整備			
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額		
49,903千円		49,907千円		4千円	99.9%	50,817千円		
目的	河川に繁茂する雑草除去などの環境整備を行い、河川景観の保全並びに災害・事故防止を図る。							
主要な事務・事業及び成果の概要	地元区への委託により、河川に繁茂する雑草の除去などの環境整備を行った。							
	○ 河川環境整備委託料（府管理河川） 48,836千円							
	委託先：各町自治区、単価：25円/㎡ (単位：千円)							
	町名	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計
	箇所数	29	16	18	27	16	65	171
	金額	5,145	3,509	2,175	6,880	8,835	22,292	48,836
	○ 草刈委託料（市管理河川） 897千円							
	委託先：各町自治区、単価：25円/㎡ (単位：千円)							
	町名	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計
	箇所数	8	2	5	1	2	5	23
金額	302	154	112	50	97	182	897	
○ 湯川放水路樋門管理委託料 170千円 (網野町木津地区)								
主な財源	府委	河川環境整備費委託金（10/10）					48,835千円	
	府委	湯川放水路樋門管理委託金（10/10）					170千円	
評価・課題等	○河川に繁茂する雑草を除去するなど環境整備を行うことにより、河川景観の保全及び災害・事故等の未然防止に寄与した。							
	○河川の草刈は、自治区の高齢化等により実施できない地区もあり、実施方法を検討する必要がある。							
事業所管課		建設部／管理課						

予 算 科 目	08土木費	03河川費	02河川維持費	01河川維持管理事業
細 事 業 名	02 河川維持補修事業			決算書 P.286
総 合 計 画	基本方針 VI うるおい安全都市		計画項目 ③ 河川・海岸・港湾の整備	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
9,083千円	9,124千円	41千円	99.5 %	11,250千円
目的	通水等に支障が生じている河川施設の維持修繕及び管理を行い、浸水被害、事故等の発生を未然に防止する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	河川維持補修事業として、修繕料による維持修繕を行った。また、5河川で維持工事を実施した。 ○修繕料 1,210千円 浜詰川（網野町浜詰）護岸修繕L=3m、ごみ撤去 679千円 掛津川（網野町掛津）河床修繕L=3m 201千円 西村川（網野町浅茂川）護岸修繕L=1m、ごみ撤去 330千円 ○河川維持工事（工事請負費） 7,873千円 天谷川（大宮町奥大野）護岸工L=14.5m 3,670千円 中川（峰山町橋木）護岸工L=5.0m 199千円 掛津川（網野町掛津）浚渫工V=92㎡ 785千円 奈良川（弥栄町黒部）浚渫工V=280㎡（明許工事と合併施行） 1,965千円 在中川（弥栄町和田野）護岸工L=11.5m 1,254千円			
主な財源				
評価・課題等	○河川維持のための修繕工事を行い、災害、事故等の発生を未然に防止することができた。 ○災害や事故の未然防止のため、今後も計画的に修繕を行うなど、河川施設等の維持管理に努める必要がある。			
事業所管課	建設部／土木課			

予 算 科 目	08土木費	03河川費	02河川維持費	01河川維持管理事業
細 事 業 名	02 河川維持補修事業（繰越）			決算書 P.288
総 合 計 画	基本方針 VI うるおい安全都市		計画項目 ③ 河川・海岸・港湾の整備	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
6,271千円	6,292千円	21千円	99.6 %	6,292千円
目的	通水等に支障が生じている河川施設の維持修繕及び管理を行い、浸水被害、事故等の発生を未然に防止する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	平成25年度から繰り越した2河川で河川維持工事を行った。 ○河川維持工事 6,271千円 天谷川（大宮町奥大野）護岸工 L=14.5m 4,754千円 奈良川（弥栄町黒部）浚渫工 V=280㎡（現年工事と合併施行） 1,517千円			
主な財源				
評価・課題等	○河川維持のための修繕工事を行い、災害、事故等の発生を未然に防止することができた。 ○災害や事故の未然防止のため、今後も計画的に修繕を行うなど、河川施設等の維持管理に努める必要がある。			
事業所管課	建設部／土木課			

予 算 科 目	08土木費	03河川費	03河川新設改良費	01河川改修事業			
細 事 業 名	01 河川改修事業				決算書	P.288	
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	③ 河川・海岸・港湾の整備		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額		
5,483千円	12,000千円		6,517千円	45.6 %	10,000千円		
目 的	通水等に支障が生じている河川施設において拡幅工事を行い、浸水被害、事故等の発生を未然に防止する。						
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	浸水被害が発生している河川水路の拡幅を実施した。						
	○河川改修工事設計委託				1,793千円		
	内ヶ森西池新田水路（網野町網野） L=140.5m						
	○河川改修工事				3,690千円		
	内ヶ森西池新田水路（網野町網野） L=140.5m						
	参 考	繰越明許費を除いた最終予算額		5,483千円			
		実質的な予算執行率		100.0 %			
	■平成27年度への繰越事業				6,517千円		
	・内ヶ森西池新田水路（網野町網野） 平成27年5月完成				6,517千円		
主 な 財 源	国補	がんばる地域交付金				1,500千円	
	市債	河川整備事業債（合併特例債）				3,700千円	
評 価 ・ 課 題 等	通水等に支障が生じている河川において、河川工事を実施し、浸水被害、事故等の発生を未然に防止することができた。						
事 業 所 管 課		建設部／土木課					

予 算 科 目		08土木費	04都市計画費	01都市計画総務費	50都市計画総務一般経費		
細 事 業 名		01 都市計画総務一般経費				決算書	P.288
総 合 計 画		基本方針 VI うるおい安全都市		計画項目	① 適正な土地利用の推進		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
1,770千円		5,084千円		3,314千円	34.8 %	1,334千円	
目 的		都市計画業務の推進及び都市計画審議会の運営に係る事務を円滑に進める。					
主要な事務・事業及び成果の概要		都市計画業務（事業）を推進する上で必要な経費を支出した。					
		○都市計画審議会の開催（2回）					123千円
		・委員報酬 116千円（4,000円×延べ29人）					
		・費用弁償 7千円					
		※委員数19人（報酬支払対象16人）					
		○都市計画広報誌（2回発行）					380千円
		○都市計画区域に係る建築関係質疑応答集作成（地区配布）					70千円
		○都市計画区域参考図作成					702千円
		○都市計画関連団体会費負担金（4団体）					63千円
		○その他事務の経費					
職員旅費、書籍代、公用車修繕代、有料道路通行料、					432千円		
久美浜街なみ整備施設管理費（公園水道代、街路灯保険料）							
参 考		繰越明許費を除いた最終予算額				1,790千円	
		実質的な予算執行率				98.8%	
主 な 財 源		府補 土地利用規制対策費交付金 46千円					
評 価 ・ 課 題 等		○「京丹後市まちづくり計画」に示された都市軸を踏まえ、新たな都市計画区域及び都市計画区域マスタープランを検討し、法手続きを経て平成27年3月31日に京都府決定となった。					
		○将来の都市構造の実現に向け、京丹後市都市計画マスタープランを策定する必要がある。					
事 業 所 管 課		建設部／都市計画・建築住宅課					

予 算 科 目	08土木費	04都市計画費	02都市下水路費	01都市下水路維持整備事業
細 事 業 名	01 都市下水路維持整備事業			決算書 P.290
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
14,968千円	14,977千円	9千円	99.9 %	16,988千円
目的	峰山・網野都市下水路施設の維持管理を行い、住宅等への浸水被害を低減する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	網野都市下水路ポンプ施設等の修繕及び点検を実施するとともに、峰山・網野都市下水路（風呂川・小栓川）の護岸維持工事を実施した。 ○網野ポンプ施設維持管理経費 8,000千円 ・電気、水道代 4,241千円 ・修繕料 72千円 ・監視装置電話回線、メール配信 259千円 ・電気工作物保安管理委託 575千円 ・機械設備等点検委託 2,808千円 ・その他（保険料、ごみ処理代、消耗品） 45千円 ○網野下水路維持管理経費 4,596千円 ・堆積土除去業務 3,862千円 ・草刈、浚渫業務 724千円 ・小栓川用地賃借料 10千円 ○工事請負費 2,372千円 ・風呂川護岸維持工事 906千円 ・小栓川護岸維持工事 769千円 ・北大路都市下水路流末改修工事 697千円			
主な財源	使用料 繰入金	都市下水路占用料 地域の元気づくり基金繰入金	117千円 1,400千円	
評価・課題等	○施設を適切に維持管理することにより、浸水被害の低減に貢献することができた。 ○網野都市下水路全般において経年劣化が見られるため、計画的な修繕を行う必要がある。			
事業所管課	建設部／都市計画・建築住宅課			

予 算 科 目	08土木費	04都市計画費	02都市下水路費	01都市下水路維持整備事業
細 事 業 名	01 都市下水路維持整備事業（繰越）			決算書 P.290
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
7,128千円	7,560千円	432千円	94.2 %	7,560千円
目的	浅茂川排水ポンプ場の3号ポンプを更新し、適正な維持管理の中で住宅等への浸水被害を低減する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	故障し運転不可となった3号排水ポンプを更新した。 ○工事請負費 7,128千円 浅茂川排水ポンプ場3号ポンプ更新 ※3号ポンプの仕様 ・型 式：着脱式水中ポンプ ・口 径：φ300mm ・吐水量：10m³/分 ・出 力：11kw			
主な財源				
評価・課題等	初期稼働用の3号ポンプを更新することで、排水処理能力を確保し、浸水被害の低減に貢献することができた。			
事業所管課	建設部／都市計画・建築住宅課			

予 算 科 目		08土木費	04都市計画費	02都市下水路費	02内水処理対策事業
細 事 業 名		01 内水処理対策事業			決算書 P.290
総 合 計 画		基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
100,798千円		343,539千円		242,741千円	29.3 % 346,839千円
目 的	網野町地内において、内水による浸水被害の発生を未然に防止する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	網野町域の内水処理対策として、日本下水道事業団に委託し内ヶ森第1雨水ポンプ場施設工事を実施するとともに、公共下水道雨水全体計画を作成した。				
	○委託料				98,600千円
	内ヶ森第1雨水ポンプ場施設工事				
	○委託料				1,500千円
	公共下水道雨水全体計画作成				
	○事務費				698千円
	普通旅費、消耗品費、燃料費、印刷機借上料				
	参 考		繰越明許費を除いた最終予算額		100,839千円
			実質的な予算執行率		99.9 %
	■平成27年度への繰越事業				242,700千円
	・内ヶ森第1雨水ポンプ場施設工事 平成28年3月完成予定				239,400千円
	・公共下水道雨水全体計画作成 平成27年6月完成				3,300千円
主 な 財 源	国補	社会資本整備総合交付金 (5/10)			49,300千円
	市債	都市下水路整備事業債 (合併特例債)			46,800千円
評 価 ・ 課 題 等	○内ヶ森第1雨水ポンプ場施設整備を継続実施し、浸水被害防止対策が進捗した。 ○網野町地内における浸水被害の軽減を図るための雨水全体計画を作成することができた。				
事 業 所 管 課		建設部／土木課			

予 算 科 目		08土木費	04都市計画費	02都市下水路費	02内水処理対策事業		
細 事 業 名		01 内水処理対策事業（繰越）				決算書	P.290
総 合 計 画		基本方針 VI うるおい安全都市			計画項目	⑥ 上下水道の整備	
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
145,400千円		145,400千円		0千円	100.0 %	145,400千円	
目 的		網野町浅茂川地区において、内水による浸水被害の発生を未然に防止する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要		網野町浅茂川地区の内水処理対策として、日本下水道事業団に委託し内ヶ森第1雨水ポンプ場施設工事を実施した。					
		○委託料 145,400千円					
		内ヶ森第1雨水ポンプ場施設工事					
主 な 財 源		国補	浸水対策下水道事業費補助金 (5/10)				72,700千円
		市債	都市下水路整備事業債（合併特例債）				69,000千円
評 価 ・ 課 題 等		内ヶ森第1雨水ポンプ場施設整備を継続実施し、浸水被害防止対策が進捗した。					
事 業 所 管 課		建設部／土木課					

予算科目	08土木費	04都市計画費	03公園費	01公園等指定管理運営事業			
細事業名	01 指定管理施設運営事業					決算書 P.292	
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	① 適正な土地利用の推進		
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
53,272千円		53,276千円		4千円	99.9%	51,839千円	
目的	都市公園の峰山途中ヶ丘公園、峰山総合公園及び八丁浜シーサイドパークを適正に維持管理し、利用者が快適、安心及び安全に利用できるようにする。						
主要な事務・事業及び成果の概要	指定管理施設の管理費を支出した。						
	○峰山途中ヶ丘公園、総合公園維持管理経費					31,077千円	
	・指定管理委託料					29,982千円	
	・修繕料					161千円	
	・用地賃借料(借上面積:1,995㎡)					202千円	
	・備品購入					568千円	
	テニスコート用ベンチ(12脚)、少年用サッカーゴール(1対)						
	・その他(消耗品、看板電気代、保険料)					164千円	
	○八丁浜シーサイドパーク維持管理経費					15,817千円	
	・指定管理委託料					15,248千円	
・修繕料					513千円		
・その他(保険料)					56千円		
○工事請負費					6,378千円		
・峰山総合公園テニスコート改修工事					4,320千円		
・八丁浜シーサイドパーク芝生広場改修工事					2,058千円		
(参考) 都市公園利用状況							
施設名		利用者数	利用料金	施設名		利用数	利用料金
峰山途中ヶ丘公園		80,095人	614千円	八丁浜シーサイドパーク		28,830人	261千円
峰山総合公園		77,590人	1,981千円	八丁浜有料駐車場		5,752台	2,876千円
主な財源	使用料	都市公園占用料					13千円
	使用料	公有財産使用料					144千円
	繰入金	地域の元気づくり基金繰入金					3,000千円
	諸収入	市有建物損害共済金					118千円
評価・課題等	○都市公園の維持管理を適正に実施し、利用者の安心・安全な利用に供することができた。						
	○各都市公園の設備及び備品について、経年劣化が目立ってきており、計画的な更新をすることにより、安全で利用しやすい施設として維持していく必要がある。						
事業所管課		建設部/都市計画・建築住宅課					

予 算 科 目	08土木費	04都市計画費	04下水道整備費	01公共下水道事業特別会計繰出金		
細 事 業 名	01 公共下水道事業特別会計繰出金			決算書 P.292		
総 合 計 画	基本方針	Ⅶ うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額		
808,000千円	808,000千円	0千円	100.0 %	808,000千円		
目的	総務省から示される下水道事業に対する繰出基準を参考に公共下水道事業特別会計へ繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し経営基盤の強化を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	一般会計から公共下水道事業特別会計に対して繰出金を支出した。					
	[繰出金の主な内容] (単位：千円)					
	項 目	公共下水	特環下水	合 計	備 考	
	基準内	起債元金償還金	8,644	26,764	35,408	
		起債利子償還金	3,951	8,400	12,351	
		分流式下水道等経費	115,521	121,823	237,344	
		高資本対策経費	0	30,290	30,290	
		児童手当	1,144	164	1,308	
	小 計	129,260	187,441	316,701		
	基準外	起債元金償還金	221,242	270,057	491,299	
施設維持管理費		0	0	0		
建設改良費		0	0	0		
小 計	221,242	270,057	491,299			
合 計	350,502	457,498	808,000			
主な財源						
評価・課題等						
事業所管課	上下水道部／下水道整備課					

予 算 科 目	08土木費	05住宅費	01住宅管理費	02市営住宅維持管理事業		
細 事 業 名	01 市営住宅維持管理事業				決算書	P.294
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	④ 住宅の供給と安心できる住環境の整備	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
17,368千円	17,524千円		156千円	99.1 %	15,035千円	
目 的	公営住宅と特定公共賃貸住宅の建物や施設に係る維持管理を行い、新たに入居する方又は既に入居している方へ良好な住宅を提供し、生活の安定と社会福祉の増進を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	公営住宅法に基づく市営住宅375戸と特定公共賃貸住宅4戸の建物や施設に係る維持管理を行った。					
	○修繕・環境整備			7,885千円		
	・退去及び維持修繕(132件)			7,447千円		
	・草刈、雑木伐採、白アリ防除			438千円		
	○清掃保守点検			126千円		
	・浄化槽検査、消防設備点検、貯水槽清掃点検					
	○土地借上料(市営住宅6団地)			2,796千円		
	※用地借上面積: 11,026.39㎡					
	○工事請負費			5,183千円		
	・樋改修工事(成願寺南団地)			3,754千円		
・屋根葺替工事(後ヶ浜団地)			565千円			
・老朽住宅の解体2戸(松原団地)			864千円			
○その他事務の経費						
消耗品、水道代、保険料ほか			1,378千円			
主 な 財 源	使用料	市営住宅使用料現年分				14,909千円
	国補	公的賃貸住宅家賃対策調整補助金(1/2)				2,459千円
評 価 ・ 課 題 等	○住宅に困窮する方へ良好な住宅の提供を行うことで、入居者の生活の安定につなげることができた。 ○公営住宅ストック総合活用計画に基づき用途廃止及び建替(統合)を進めると共に、適正な修繕及び維持管理を行っていく必要がある。					
事 業 所 管 課		建設部/都市計画・建築住宅課				

予 算 科 目	08土木費	05住宅費	01住宅管理費	04がけ地近接等危険住宅移転事業	
細 事 業 名	01 がけ地近接等危険住宅移転事業				決算書 P.294
総 合 計 画	基本方針 VI うるおい安全都市		計画項目	④ 住宅の供給と安心できる住環境の整備	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
802千円	802千円	0千円	100.0 %	802千円	
目 的	土砂災害特別警戒区域の指定区域内にある住宅の移転を促進し、住民の生命の安全を確保する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	災害の未然防止を図るため、がけ地の崩壊等のおそれの高い土地から居住者自身の自助努力による住宅の移転を支援するため、申請住宅の除却に対して補助を行った。 ○がけ地近接等危険住宅移転費補助金 危険住宅の除却1件（峰山町安地内）802千円 ※制度の概要 ・対象区域：土砂災害特別警戒区域 ・対象建築物：対象区域内にある住宅 ・対象経費：危険住宅の除去等に要する費用（除去費、動産移転費など） ・補助対象限度額：802千円（うち国1/2、府1/4）				
主 な 財 源	国補 府補	がけ地近接等危険住宅移転事業（1/2） がけ地近接等危険住宅移転事業（1/4）			401千円 200千円
評 価 ・ 課 題 等	土砂災害特別警戒区域の住宅について移転の支援ができた。自助努力による住宅の移転について効果的な事業である。				
事 業 所 管 課		建設部／都市計画・建築住宅課			

予 算 科 目	08土木費	05住宅費	01住宅管理費	05ｽﾏｰﾄ・ｲﾝ等住宅改修事業
細 事 業 名	01 ｽﾏｰﾄ・ｲﾝ等住宅改修事業			決算書 P.294
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	④ 住宅の供給と安心できる住環境の整備
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
13,311千円	13,399千円	88千円	99.3 %	20,000千円
目的	環境にやさしい住宅、子育てしやすい住宅、高齢者等が住みやすい住宅への工事費の一部を支援することにより、住環境整備を促進し、もって建設業の需要拡大を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	助成対象の改修工事を施工した154人に対して助成を行った。			
	○ｽﾏｰﾄ・エコ子育て等住宅改修費助成金			13,311千円
	【実績】			
	1 主な工事による分類			
	主な工事		交付件数	
	ｽﾏｰﾄ・エコ		111件	
	子育て		8件	
	バリアフリー		35件	
	2 申請の状況			
	申請件数		助成対象金額（市内業者受注額）	
154件		176,147千円		
※制度の概要				
・ 助成対象工事				
ｽﾏｰﾄ・エコ改修（エコキュート設置、窓の断熱、LED照明など）				
子育て住宅改修（子ども部屋の増築又は改修など）				
バリアフリー改修（室内の段差解消、スロープ設置、トイレ・浴室改修など）				
・ 助成金額				
対象経費：500千円以上、補助率：1/10（上限100千円）				
・ 平成26年度及び平成27年度の2年間限定				
主な財源	繰入金	地域振興基金繰入金		13,000千円
評価・課題等	住宅改修費の一部を支援することで、住宅環境整備を促進するとともに、市内建設業の需要拡大を図ることができた。			
事業所管課	建設部／都市計画・建築住宅課			

予 算 科 目	08土木費	05住宅費	01住宅管理費	50住宅一般経費
細 事 業 名	01 住宅一般経費			決算書 P.294
総 合 計 画	基本方針 VI うるおい安全都市	計画項目	④ 住宅の供給と安心できる住環境の整備	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,381千円	2,490千円	109千円	95.6 %	1,174千円
目的	市営住宅の維持管理並びに建築事業に係る事務を円滑に進める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	市営住宅の家賃算定や入居、退去等に係る事務的費用を支出した。			
	○市営住宅入居者選考委員会の開催（3回）			94千円
	・ 委員報酬 84千円 （4,000円×延べ21人）			
	・ 費用弁償 10千円			
	※委員数8人（報酬支払対象7人）			
	○公営住宅管理システム保守委託料			146千円
	○建築事業事務経費			542千円
・ 建築積算ソフトウェア借上料			490千円	
・ 建築関係講習会負担金			52千円	
○事務補助人材派遣委託（1人）			1,289千円	
※期間：平成26年7月1日～平成27年1月31日				
○その他事務の経費				
職員旅費、書籍代、印刷代、有料道路通行料ほか			310千円	
主な財源	使用料	市営住宅使用料現年度分		2,381千円
評価・課題等	市営住宅の入居募集を3回実施し、住宅に困窮する方への住宅提供ができた。			
事業所管課	建設部／都市計画・建築住宅課			

予算科目	08土木費	05住宅費	03住宅耐震事業費	01住宅・建築物耐震改修等事業		
細事業名	01 住宅・建築物耐震改修等事業				決算書	P.296
総合計画	基本方針 VI	うるおい安全都市		計画項目	④ 住宅の供給と安心できる住環境の整備	
決算額 ①	最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
5,241千円	5,282千円		41千円	99.2%	13,502千円	
目的	住宅の耐震化率を引き上げ、地震時における人的被害を低減するとともに、建物倒壊による道路の閉塞を防ぐ。					
主要な事務・事業及び成果の概要	国の「建築物の耐震化緊急対策方針」による住宅の耐震化率を9割という目標を受け、昭和56年以前の木造住宅の耐震診断や耐震改修に係る費用の助成を行った。 ○事務費（職員旅費） 21千円 ○木造住宅耐震診断委託料 720千円 48千円×15件 業務内容：京都府登録の木造住宅耐震診断士による木造住宅の耐震性の判定 対象建物：市内の木造住宅で昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた住宅 費用負担：診断料51千円のうち、市が48千円、申請者が3千円を負担 ○木造住宅耐震改修補助金 3,600千円 900千円×4件 補助内容：昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅で、耐震診断の結果、上部構造評点が1.0未満のものを、耐震改修によりそれ以上とする工事に対して補助。 補助金：改修工事等に要した費用の4分の3の額 （その額が900千円を超えるときは900千円を限度） ○木造住宅簡易耐震改修補助金 900千円 300千円×3件 補助内容：昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅で、耐震診断の結果、上部構造評点が1.0未満のものを、部分的な改修により耐震性が向上する工事に対して補助。（屋根の軽量化・壁補強等） 補助金：改修工事等に要した費用の4分の3の額 （その額が300千円を超えるときは300千円を限度）					
主な財源	国補 府補	建築物耐震改修等事業費補助金（耐震診断1/2、耐震改修1/4） 建築物耐震改修等事業費補助金（耐震診断1/4、耐震改修1/2）				1,485千円 2,430千円
評価・課題等	○耐震診断、耐震改修とも当初予定していた件数より若干下回る結果となった。 ○住宅の安全性や耐震性を向上させるため、建築業界との連携及び支援制度の啓発について、周知方法を検討する必要がある。					
事業所管課	建設部／都市計画・建築住宅課					

予 算 科 目	08土木費	06港湾費	01港湾総務費	01アメニティーク美浜管理事業	
細 事 業 名	01 アメニティーク美浜管理事業				決算書 P.296
総 合 計 画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	③ 河川・海岸・港湾の整備
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
2,061千円	2,126千円		65千円	96.9 %	2,263千円
目的	京都府事業と一体的に整備されたアメニティーク美浜公園について、適正な管理と活用により、地域の活性化を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	アメニティーク美浜公園を適正に管理するため、管理委託料等を支出した。				
	○アメニティーク美浜公園消耗品等 232千円 公衆トイレ用品・上下水道代・火災保険料、公園水道代、電気代 ○アメニティーク美浜公園管理委託料 1,829千円 管理内容：公園内の清掃及び芝生の施肥、除草、草刈、トイレ掃除等				
	アメニティーク美浜公園（28,154.39㎡） 京都府と京丹後市が整備した施設を一体的に管理しているものであり、京都府施設の管理に係る経費については京都府より委託金を受けている。 (面積内訳) 京都府 10,575.29㎡ 京丹後市 17,579.10㎡				
主な財源	府費	アメニティーク美浜公園管理委託金			1,598千円
評価・課題等	アメニティーク美浜公園の適正な管理により、市民や観光客へ憩いの場を提供し、地域活性化に寄与した。				
事業所管課		建設部／管理課			

予算科目	08土木費	06港湾費	01港湾総務費	50港湾総務一般経費
細事業名	01 港湾総務一般経費			決算書 P.296
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	③ 河川・海岸・港湾の整備
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
1,209千円	1,261千円	52千円	95.8 %	1,261千円
目的	京都府から受託した久美浜港湾内の漂着ゴミ等の清掃業務を港湾隣接自治会へ再委託し、港湾管理及び久美浜湾環境保全業務の円滑な推進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	京都府から受託した久美浜港の清掃事業の実施及び十楽埋立地の管理（草刈）事業を行うとともに、港湾事業を推進した。 ○久美浜港湾清掃業務委託費（港湾隣接地区へ委託） 983千円 港湾隣接7地区：葛野、長柄、浦明、神崎、西本町、十楽、湊宮 ○十楽埋立地草刈業務委託（シルバー人材センターへ委託） 84千円 ○協会負担金 142千円 ・全国海岸協会費 30千円 ・京都府海岸協会費 62千円 ・日本港湾協会費 50千円			
主な財源	府補 海岸漂着物地域対策推進事業（10/10） 983千円			
評価・課題等	○京都府から受託した久美浜港湾内の清掃業務について、港湾に隣接している自治会へ再委託し、港湾の環境保全を図ることができた。 ○豪雨時等に河川から港湾に流れ込む大量の漂着ゴミの堆積に緊急対応ができるよう京都府に要請する必要がある。			
事業所管課	建設部／管理課			

予算科目	09消防費	01消防費	01常備消防費	02消防本部総務業務
細事業名	01 消防本部総務業務			決算書 P.298
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑧ 消防・防災体制の強化
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
9,483千円	9,506千円	23千円	99.7 %	8,989千円
目的	消防業務の企画調整、消防施設の管理、消防職員の士気や知識の向上、被服の貸与及び安全衛生管理を行い、24時間体制の常備消防活動を維持し運用する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	消防長会、府立消防学校、消防・防災関連会議等への出席、制服等職員貸与品の購入、事務用品、コピー、電話代金支払い等の事務を行った。 消防活動に万全の体制で対応するため、職員の健康管理・増進事業について積極的に取り組んだ。 ※消防職員（吏員）95人 平成27年3月末日現在 ○旅費 570千円 ・消防長会、消防学校、京都府主催会議等 ○消耗品費 5,565千円 ・現任職員貸与被服等購入費（制服、活動服、雨具等） 2,523千円 ・新採用職員貸与被服等購入費（3人：制服、活動服等） 1,484千円 ・仮眠寝具等購入費 115千円 ・法令関係図書、事務用品、コピー代等 1,443千円 ○通信運搬費 1,283千円 ・NTT電話料金（各署所一般基本料・通話料、携帯電話基本料・通話料、郵便・メール便料金、久美浜有線放送料金等） ○肝炎ウィルス検診委託料等（新規採用職員2人、現任追加接種8人） 94千円 ○職員健康診断委託料 798千円 ・潜水業務健康診断（13人） B・C型肝炎抗体検査（75人） ・労働安全衛生法に基づく消防職員第2回目健康診断料（74人） ○コピー機借上料、印刷機使用料、テレビ受信料等 409千円 ○全国消防長会等負担金等 266千円 ○その他事務経費等 498千円			
主な財源				
評価・課題等	○消防本部における総務業務を適切に行うことで、24時間体制の常備消防活動を維持・運用することができた。 ○事務、消耗品等の発注を、本部総務課で一括して行うなど経費の削減に努めることができた。			
事業所管課	消防本部／総務課			